

# First One

## ファーストワンシリーズ

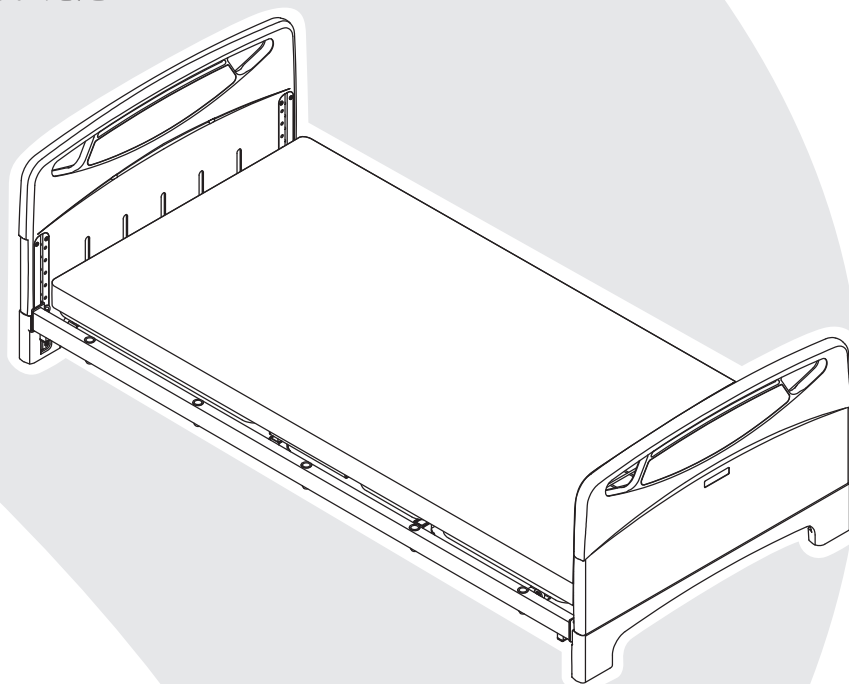
### 取扱説明書

この度は、ランダルコーポレーションの製品をお買いあげ、またはレンタル頂き、まことにありがとうございます。

この「取扱説明書」には、ベッドを安全にご使用いただくための注意事項が記載されています。ご使用前に必ずお読みになり正しくお使いください。

また分解・組み立て手順も記載されております。ベッドを安全にご使用いただくため、手順をよくご理解頂き、指示に従い正しく作業を行ってください。

この「取扱説明書」は、いつでもごらんいただけるように大切に保管してください。



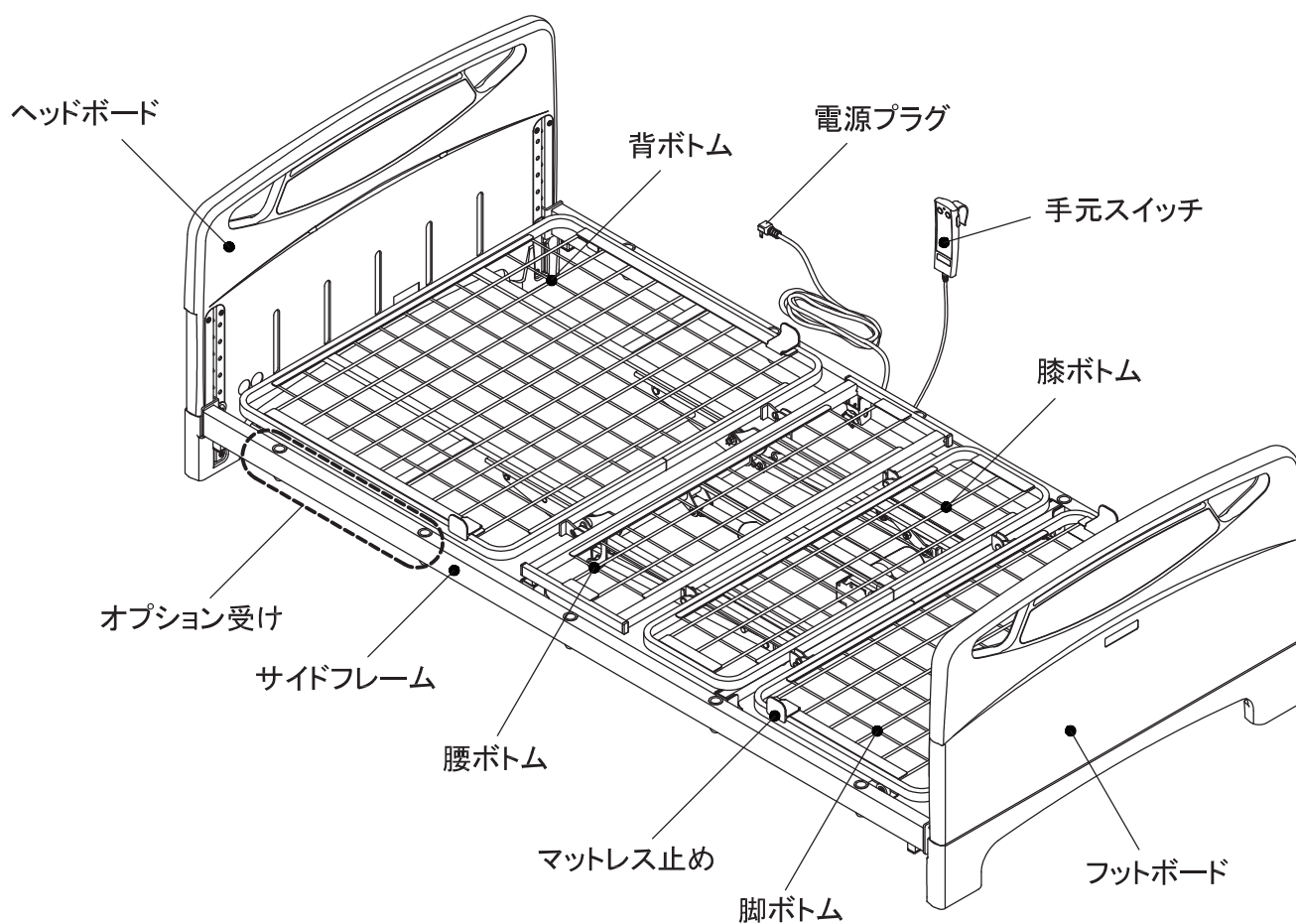


## 目次

<b>1.</b>	<b>各部の名称</b> .....	<b>4</b>
<b>2.</b>	<b>安全に使用いただくために</b> .....	<b>5</b>
<b>3.</b>	<b>本書のみかた</b> .....	<b>15</b>
<b>4.</b>	<b>日常の使用方法和操作</b> .....	<b>16</b>
	■ 手元スイッチの操作方法 .....	16
	■ 膝連動切換え方法 .....	17
	■ 日常のお手入れ .....	18
<b>5.</b>	<b>機種別組み立てガイド</b> .....	<b>19</b>
<b>6.</b>	<b>組み立てる前の準備</b> .....	<b>20</b>
<b>7.</b>	<b>組み立て方法</b> .....	<b>21</b>
	■ パッケージごとの内容物と付属品 .....	21
	<b>1</b> HF ボードにサイドフレームを取り付けます .....	22
	<b>2</b> モーターユニットを取り付けます .....	24
	<b>3</b> 背ボトムを取り付けます .....	26
	<b>4</b> 脚ボトムを取り付けます .....	27
	<b>5</b> 完成 .....	29
	■ 適合オプションについて .....	30
	■ サイドレール・介助バーの取り付けについて .....	31
	■ 介護リフト使用時のご注意 .....	35
<b>8.</b>	<b>組立後の点検</b> .....	<b>36</b>

<b>9. 分解方法</b> .....	<b>37</b>
<b>1</b> 脚ボトムを取り外します .....	38
<b>2</b> 背ボトムを取り外します .....	39
<b>3</b> モーターユニットを取り外します .....	40
<b>4</b> HF ボードからサイドフレームを取り外します .....	41
■ 付属部品と分解したユニットの保管 .....	42
<b>10. 停電・故障時の取り扱いについて</b> .....	<b>43</b>
■ 背下げのしかた .....	43
■ 戻しかた .....	44
<b>11. 仕様について</b> .....	<b>45</b>
<b>12. 故障かな?と思ったら</b> .....	<b>46</b>
<b>13. アフターサービスについて</b> .....	<b>47</b>
■ 保証書 .....	47
■ 修理を依頼される時 .....	47
■ 製品の最低保有年数は .....	47

# 1. 各部の名称



## 2. 安全に使用いただくために

この取扱説明書では、ベッドを安全に正しくお使いいただくために、守らなければならない内容や、注意する必要がある内容について、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



### 警告

この表示を無視して取り扱いを誤ると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



### 注意

この表示を無視して取り扱いを誤ると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



△ 記号は注意(危険・警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容(左図の場合は指はさみ注意)が描かれています。



⊘ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



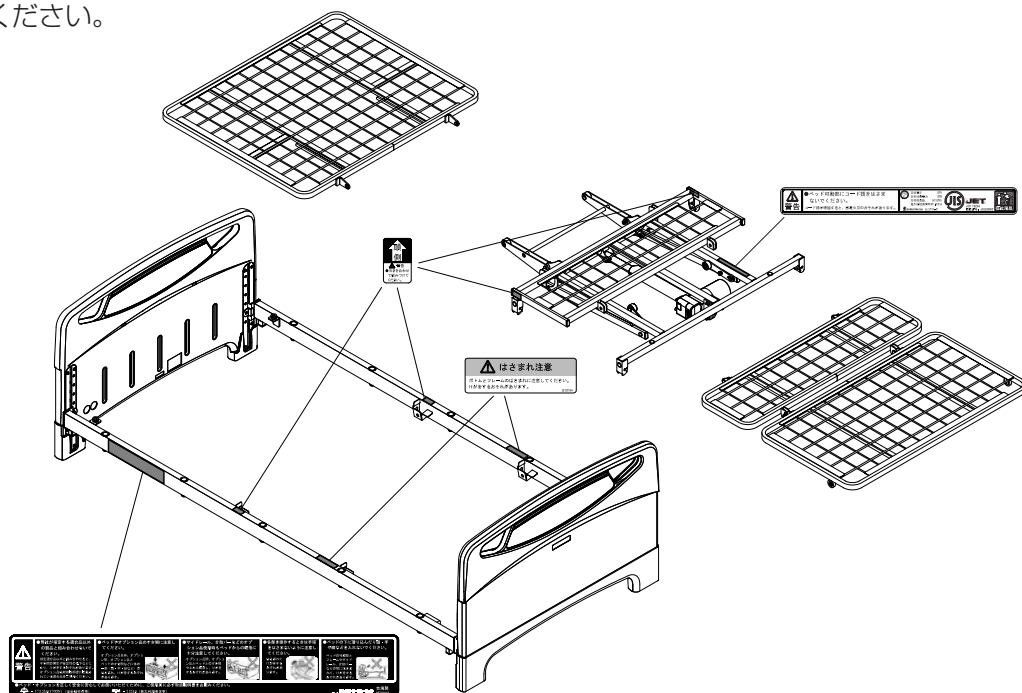
● 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は差し込みプラグをコンセントから抜いてください)が描かれています。

★『安全に使用するための注意事項』などに記載の項目で、特に【すき間に関する注意】は、生命に関わる重大な事故につながる可能性のある重要な項目です。本取扱説明書とあわせ、製品に別添の『すき間に関する注意事項』を必ずお読みいただき、正しく安全にお使いください。なお、特に予測できない行動をとられる方や体位を自分で保持できない方には十分注意してください。

※ 取扱説明書をお読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。

【安全ラベルについて】

- 注意事項の中で、ベッドをお使いになる方に特に注意していただきたい項目をラベルにして、サイドフレーム／モーターユニットの側面と上面に貼ってあります。はがしたり傷つけたりしないでください。
- 安全ラベルが傷ついたり、はがれてしまった場合は販売店から新しい安全ラベルを取寄せ、貼り直してください。



## 警告

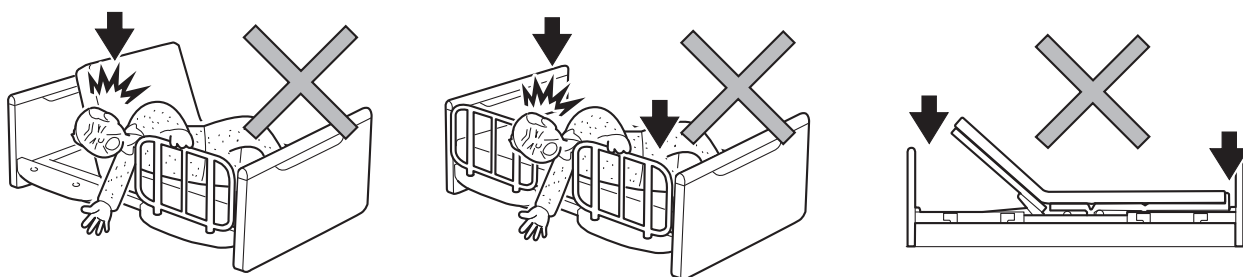
### ■ 弊社が指定する適合品以外の製品とは組合せないでください

- ベッドに直接取付けて使用するサイドレール、マットレスなどは弊社が指定する適合品をお使いください。

指定以外の製品と組合せると、意図せぬすき間の発生や製品同士の干渉、安定性の低下などにより、けがをしたりベッドが故障するおそれがあります。

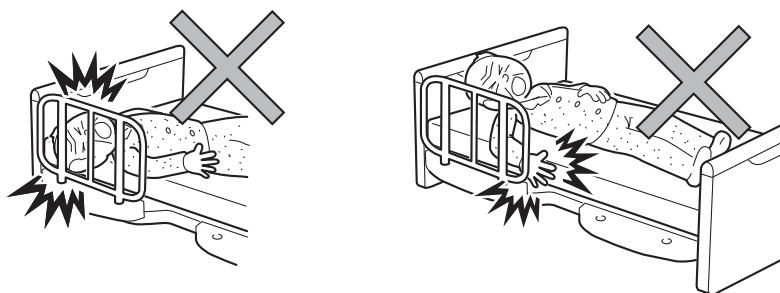
### ■ サイドレールと介助バーの間、サイドレール・介助バーとボードや(特にあがっている)ボトムなどとのすき間(↓)に身体の一部(特に頭や首)が入らないように注意してください

- すき間にはさまれたり、入ると抜けなくなり、けがをするおそれがあります。
- 特に、予測できない行動をとられる方や、体位を自分で保持できない方には十分注意してください。



### ■ サイドレール・介助バーなどやボトム・マットレスのすき間に身体の一部(特に頭や首)が入らないように注意してください

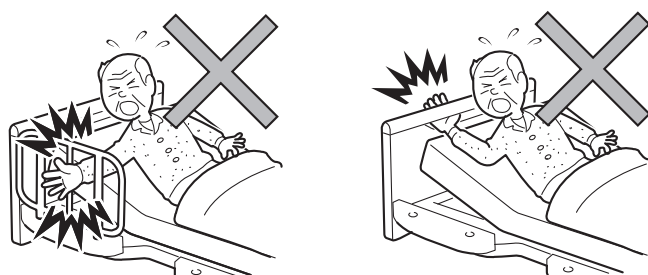
- すき間に入った状態で手元スイッチを操作すると、はさまれてけがをするおそれがあります。
- すき間にはさまれたり、入ると抜けなくなるなどして、けがをするおそれがあります。
- 特に、予測できない行動をとられる方や、体位を自分で保持できない方には十分注意してください。



## 警告

### ■ サイドレール・介助バーなどやボードのすき間に身体の一部が入らないように注意してください

- すき間に入った状態で手元スイッチを操作すると、はさまれてけがをするおそれがあります。
- すき間にはさまれたり、入ると抜けなくなるなどして、けがをするおそれがあります。
- 特に、予測できない行動をとると思われる方や、体位を自分で保持できない方には十分注意してください。

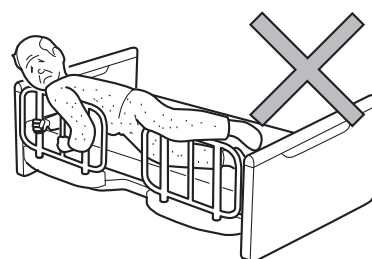


### ■ ベッドと壁や周りのものとのすき間にはさまれないように注意してください

- 身体の一部がはさまれて、けがをするおそれがあります。
- 特に、予測できない行動をとると思われる方や、体位を自分で保持できない方には十分注意してください。

### ■ サイドレール使用時もベッドからの転落に十分注意してください

- サイドレールとサイドレール、各ボードとサイドレールのすき間から転落し、けがをするおそれがあります。
- サイドレールの上から身を乗り出して転落し、けがをするおそれがあります。
- 厚みのあるマットレスを使用する場合、相対的にサイドレールが低くなり、サイドレールを乗り越えやすくなりますのでご注意ください。
- ベッドの背をあげた状態で使用される場合、転落予防としての効果を十分に発揮できないおそれがあります。
- 特に、予測できない行動をとると思われる方や、体位を自分で保持できない方には十分注意してください。

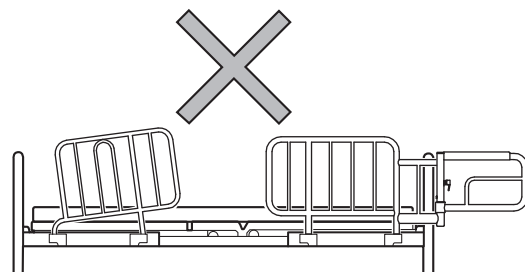




## 警告

### ■ サイドレール・介助バーなどを取付ける際は、正しい向きで取付けてください

- ベッドから転落したり、意図せぬすき間が発生して、身体の一部がはさまれてけがをするおそれがあります。
- 誤った向きでは確実に差込むことができず、サイドレール・介助バーなどが不意に外れるなどして、けがをするおそれがあります。正しい向きでの取付けかたについては、P.30～32を参照してください。



### ■ サイドレール・介助バーなどを取付ける際は、オプション取付穴に異物が入っていないことを確認してください

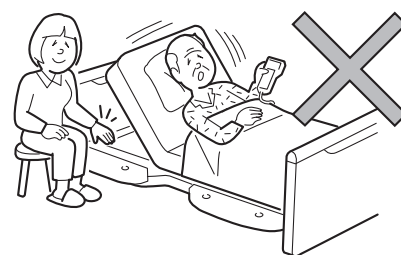
- 異物が入っていると確実に取付けることができず、ベッドから転落したり、意図せぬすき間が発生して、身体の一部がはさまれてけがをするおそれがあります。

### ■ ベッドの下に潜り込んだり、頭、手や足などを入れないでください

- ベッドの可動部とフレームやサイドレール・介助バーなどとの間にはさまれて、けがをするおそれがあります。手元スイッチ操作は、ベッドの下および周りに人や障害物がないことを確認して行ってください。

### ■ 手元スイッチ操作中はベッドのフレームとボトムの間などに手(指)や足などを入れないでください

- さがってきたボトムとベッドのフレームやボードなどの間にはさまれて、けがをするおそれがあります。



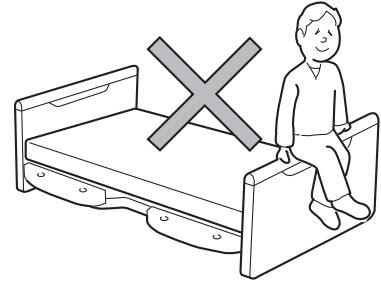
### ■ オプションや突起物に衣類などが絡まないように注意してください

- 衣類などが絡まった状態でベッドを操作すると、衣類などが引っ張られるなどして、けがをするおそれがあります。
- ベッドの乗り降りなどの際に転倒して、けがをするおそれがあります。

## 警告

### ■ サイドレール・介助バーやヘッドボード・フットボードなどに腰掛けたりしないでください

- ベッドから転落・転倒してけがをしたり、ベッドやサイドレール・介助バーなどが破損・変形して、けがをするおそれがあります。



### ■ 12歳以下のお子様や操作が理解できないと思われる方に操作させないでください

- 12歳以下のお子様や操作が理解できないと思われる方(認知症の方など)が、1人で手元スイッチを操作した場合、誤ってベッドに身体がはさまれるなど、思わぬけがをするおそれがあります。1人で手元スイッチに触れる可能性がある場合には、次のいずれかの方法により操作を制限し、誤操作による事故を未然に防いでください。
- 電源プラグを抜く。

### ■ ボトム角度を調節する際は、ベッドをご使用の方の状態に注意してください

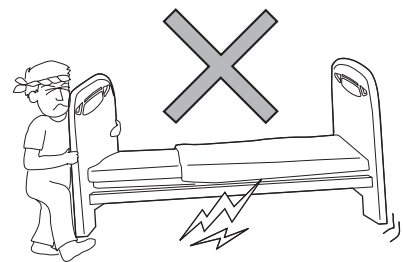
- ベッドをご使用の方がボトム角度調節中に動くと、ベッドから転落したり、サイドレール・介助バーなどやボードなどとのすき間にはさまれて、けがをするおそれがあります。
- 特に自分で体位を保持できない方の場合は、身体を支えながら操作してください。

### ■ ベッドから離れたり、ベッドをご使用の方から一時的に目を離す際は、ボトムの角度に注意してください

- 介護者などがベッドから離れたり、ベッドをご使用の方から一時的に目を離す際は、万一のベッドからの転落に備え、ご使用の方の状況に応じて、ボトムの角度を水平にしてください。

### ■ ベッドの移動は必ず2人以上で行ってください

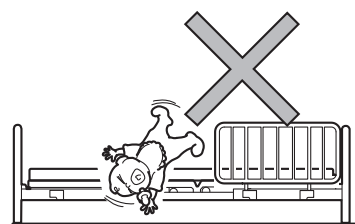
- 引きずると、床に傷が付いたりベッドを破損する可能性があります。



# 警告

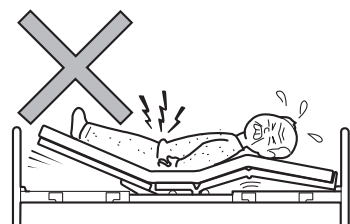
## ■ 乳幼児やお子様には使用しないでください

- 本製品は乳幼児やお子様向けに設計されていません。サイドレールなどのすき間に身体の一部がはさまれて、けがをするおそれがあります。
- サイドレールを使用してもすき間から転落して、けがをするおそれがあります。



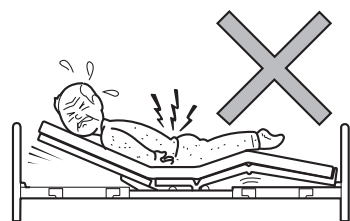
## ■ ベッドは正しい向きで使用してください

- ベッドの頭側、足側を間違えて寝ると手元スイッチ操作の際、無理な姿勢となり、けがをするおそれがあります。



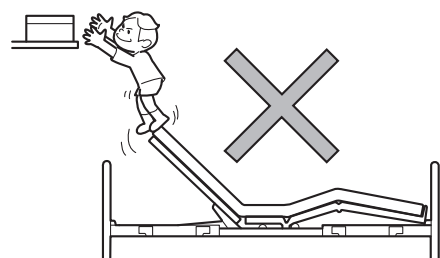
## ■ うつ伏せや横向きで寝た状態(仰向け以外)での角度調節は行わないでください

- 関節を逆に曲げることになり、けがをするおそれがあります。



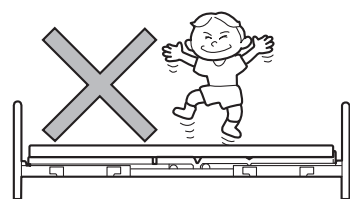
## ■ 踏み台がわりにしないでください

- ベッドから転落・転倒して、けがをするおそれがあります。



## ■ ベッドの上で飛び跳ねないでください

- ベッドから転落・転倒してけがをしたり、ベッドが故障するおそれがあります。特にお子様にはご注意ください。



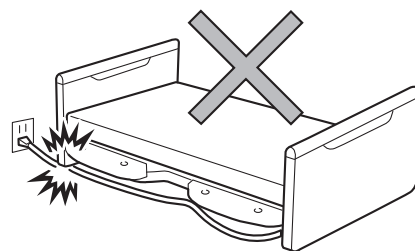
## 警告

### ■ お客様による修理・改造はしないでください

- 意図せぬすき間の発生や異常動作などにより、けがをするおそれがあります。

### ■ コード類(電源コードなど)を傷つけないでください

- コード類が破損し、感電・火災のおそれがあります。
  - ベッドの可動部にコード類をはさまないようにしてください。
  - コード類に重いものを置いたり無理な力を加えないようにしてください。
  - ベッドでコード類を踏みつけないでください。
- 傷んだコード類は修理(交換)を依頼してください。



### ■ 電源コードや手元スイッチのコードに足を引っ掛けないようにしてください

- プラグやコードが破損し、感電・火災のおそれがあります。
- 転倒して、けがをするおそれがあります。

### ■ ベッドやその他の電気機器のコード類(電源コードなど)をベッドの下に通さないでください

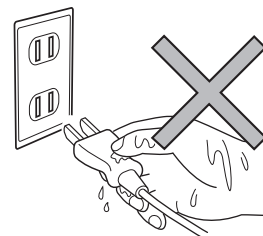
- 脚座やキャスター、可動部などにはさまれてコード類が破損し、感電・火災のおそれがあります。

### ■ 電子治療器を使用するときは必ず電源プラグを抜いてください

- 電子治療器(マイクロ波治療器、超短波治療器など)を同時に使用した場合、ベッドの故障や誤動作の原因となります。
- なお、他のME機器と併用する際は、安全をご確認の上ご使用ください。

### ■ 電源プラグを濡れた手で抜き差ししないでください

- ショートして感電・故障するおそれがあります。



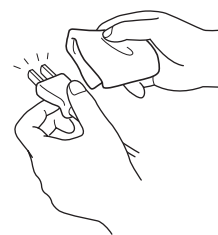
## 警告

### ■ 掃除などベッドの下に入る際は電源プラグを抜いてください

- 誤操作によりフレームなどにはさまれて、けがをするおそれがあります。

### ■ 電源プラグにほこりを付着させないでください

- 電源プラグの表面にほこりが付着していると水分を含んで電流が流れ、絶縁状態が悪くなり、発火するおそれがあります。
- 電源プラグの表面にほこりが付着している場合、乾いた布などでよく拭き取ってください。



### ■ 電源プラグに無理な力を加えないでください

- 感電・火災のおそれがあります。

### ■ 電源プラグを持って抜いてください

- 電源プラグを抜く際、電源コードのみを持って引き抜くとコードが傷んで感電・発火するおそれがあります。

### ■ お手入れは電源プラグを抜いて行ってください

- 誤操作によるけがやショートによる感電のおそれがあります。

### ■ タコ足配線は行わないでください

- コンセントや延長コードの容量を超える電気製品を同時に接続使用すると、電源コードやプラグが発熱して発火するおそれがあります。

### ■ 水などをこぼさないでください

- モーターや手元スイッチなどの電装品に、水などをこぼさないでください。ショートして感電したり、故障の原因となります。誤ってこぼしてしまった場合には、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、販売店または弊社営業所・サテライトにご連絡ください。

### ■ ベッドは定期的に点検してください

- 使用の頻度や環境により、製品は摩耗・劣化します。定期的に各部のゆるみ、可動部の動作、破損の有無などを点検してください。思わぬけがをするおそれがあります。

### ■ 被災したベッドは点検・修理をしてください

- 地震・火災・水害などで被災したベッドは、お買い上げの販売店または弊社営業所・サテライトまで、点検・修理をご依頼ください。電装品のショートや漏電による感電・火災やベッドの変形による動作の異常によって、けがをするおそれがあります。

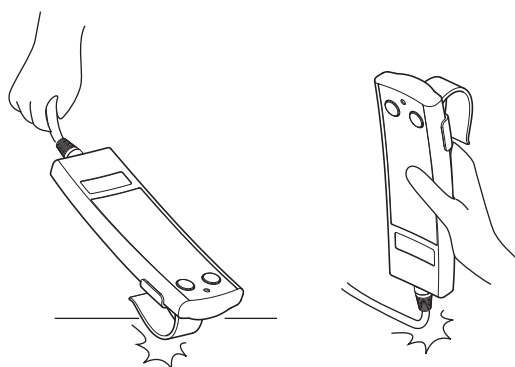
## 警告

### ■ ベッドをご使用の方の容態にあわせて使用し、治療中の方は医師に相談をしてください

- ご使用の方の容態によっては、ベッドの操作で容態を悪化させる可能性があります。
- 現在治療中の方は、ベッドの操作が症状を悪化させる可能性があります。ベッドのご使用に際して不安や疑問があるときは、かかりつけの医師にご相談ください。

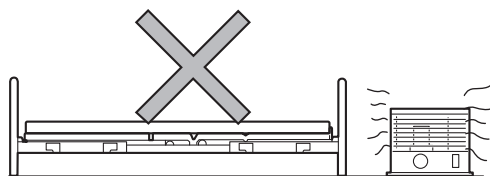
### ■ 手元スイッチなどの電装部品をぶついたり傷つけないでください

- ショートによる感電や誤動作のおそれがあります。
- 傷んだ手元スイッチなどの電装部品は修理(交換)を依頼してください。



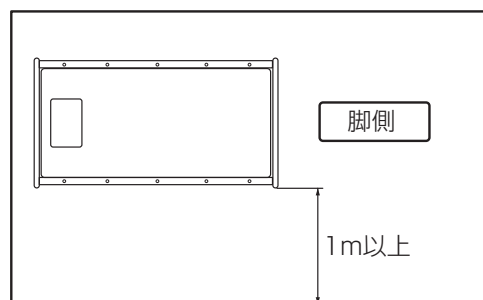
### ■ 火気に近づけないでください

- ベッドの近くで、ストーブなどの熱器具を使用しないでください。変質・変形・発火などの原因となります。



### ■ スペースを十分に確保して、ベッドを設置してください。

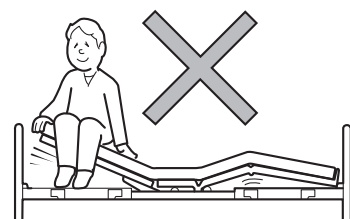
- ベッドの横に車いすを横付けできるスペースや、また、介護の方がベッドの周りで介護するためのスペースなども十分に確保してベッドを設置してください。
- ベッドと壁の間隔については左図を参照して設置を行ってください。



## 注意

### ■ あがっているボトムに乗らないでください

- ボトムの支持部に大きな力がかかり、破損・変形の原因となります。



### ■ 2人以上で使用しないでください

- このベッドは1人用の設計になっています。2人以上で使用すると、ベッドが破損してけがをすることがあります。

このベッドの最大利用者体重は135kgです。  
一時的に、介護者がベッドに乗る必要がある場合は、次の点を確認してください。

- ベッドにかかる荷重が最大利用者体重(135kg)を超えていないこと
- ※ ベッドに安全動作荷重(P43※2)以上の荷重を加えないでください。
- ・ ベッドが破損してけがをすることがあります。



### ■ 手元スイッチ操作時は周囲を確認してください

- 手元スイッチ操作によって周囲の物を破損させたり、ベッドを破損・変形させる原因となります。

### ■ 移乗の際などにマットレス止めに身体をぶつけないように注意してください

- けがをすることがあります。

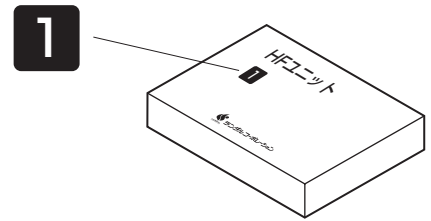
### ■ 殺虫剤をベッドにかけないでください

- 殺虫剤に含まれる溶剤によって、ベッドが破損・変色・溶解するおそれがあります。また、破損・溶解した部分で思わぬけがをすることがありますので十分ご注意ください。

# 3. 本書のみかた

① タイトルの部品と取り付ける部品を表示しています。

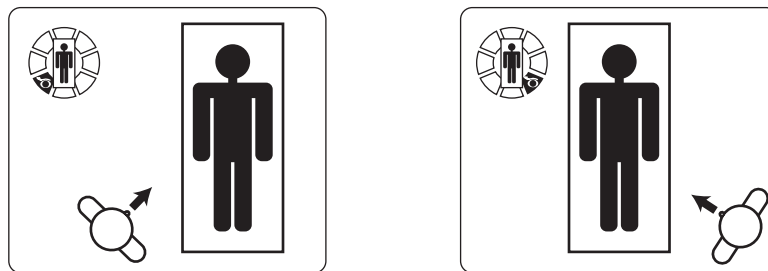
**1** はその部品が梱包されている梱包箱の番号です。



② タイトルの部品を取り付けるときに使用する部品を表示しています。**1** は梱包番号でそれに続く名称は内容物の名前です。

③ **ポイント** は組み立てに役立つポイントを記載しています。組み立てをスムーズに行うため、必ずお読みください。

④ **8方向** は記載されているイラストが、ベッド本体をどの方向から見たものかを8方向のマークで表しています。



タイトル

**HFボードにサイドフレームを取り付けます**

④

②

①

③

HFボードは頭側と脚側で外観が一部異なります。鉄板と木目シートが同じ面に貼られているのが脚側HFボード、木目シートのみ貼られているのが頭側HFボードとなります。HFボードの外観をよく確認してから組み立てを行ってください。

① 脚側のHFボードの接続金具部分にサイドフレームのツメ部分を引っ掛けます。サイドフレームの取り付けはHFボードの接続金具に印刷されている床面表記部分とサイドフレームの上端が合うように取り付けを行ってください。

② ベッドは組み立てが完了すると、重量があるため簡単に移動できません。あらかじめベッドを使用する位置にHFボードを設置してから組み立てを行ってください。

15



# 4. 日常の使用方法和操作

## ■ 手元スイッチの操作方法

### ⚠ 警告

12歳以下のお子様や自分でベッドを適切に操作できない方には、一人でベッドを操作させないでください。

### ⚠ 注意

手元スイッチのケーブルがベッドの駆動部に絡まないように注意してください。ケーブルが引っ張られたままベッドを使用すると、断線や故障の原因となります。

#### 背あげ膝連動



基本は膝連動です。背上げのみの場合は、組立時に調整する必要があります。

背ボトムを調整します。  
(水平から最大75度、膝19度)

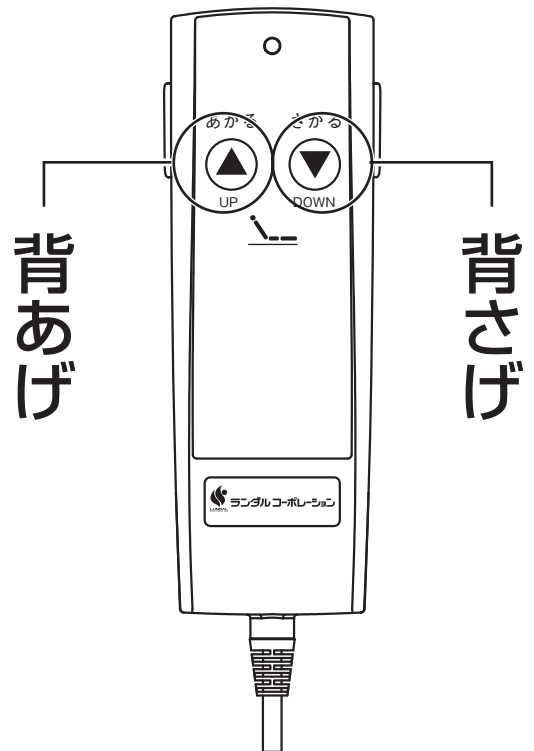
#### 背あげ



ベッドから起き上がる時に使用します。  
ベッドで食事や読書をする時に使用します。

背ボトムを調整します。  
(水平から最大75度)

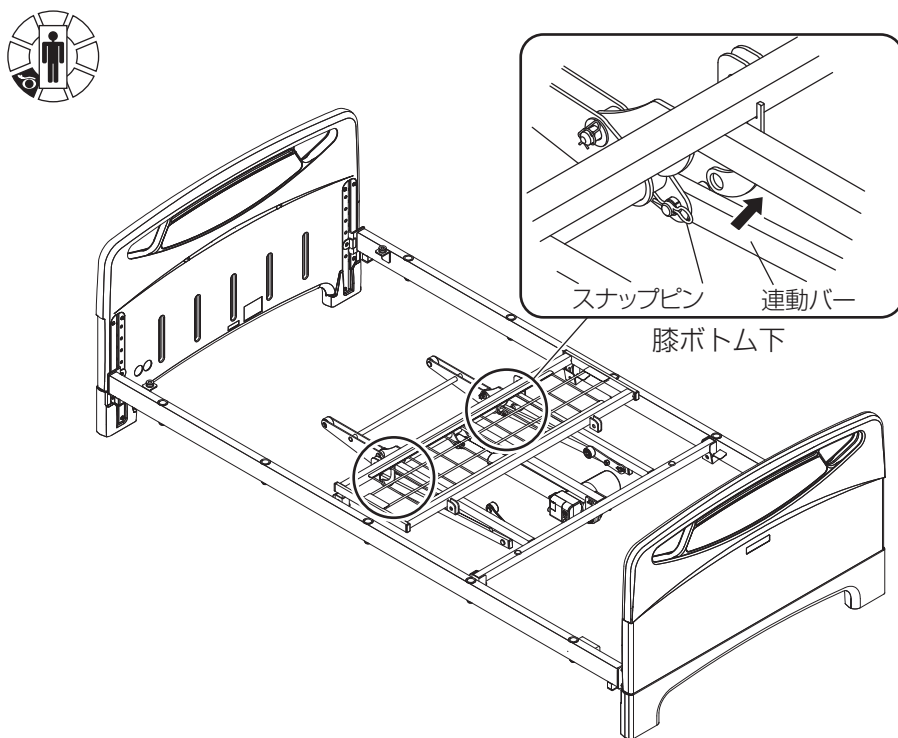
手元スイッチ操作ボタン



- 手元スイッチを操作してもベッドが動かない場合は、繰り返し手元スイッチを操作せず44ページの「10.故障かな?と思ったら」を参照してください。

## ■ 膝連動切換え方法

ファーストワンベッドは、初期状態で背ボトムと膝ボトムが連動して駆動します。連動バーを組み替えることにより、背ボトムのみでのあげ、さげに切り替えることができます。



- ① 腰ボトムの下に連動バーがあります(2カ所)。
- ② それぞれを固定しているスナップピンを抜きます。
- ③ 連動バーを組み替えて、スナップピンを取り付けます。

## ⚠ 注意

連動バーは2本あります。必ず2本とも同じ状態にしてください。破損の原因となります。

## ■ 日常のお手入れ

### ⚠ 注 意

- ベッドをお手入れするときは、誤動作による事故を防止するため、電源プラグをコンセントからはずして行います。
- シンナー・ベンジンなどの揮発性の高い薬品は絶対に使用しないでください。



### ⚠ 警 告

ベッドに水やお湯をかけて掃除しないでください。ショートして感電の恐れがあります。

- **ベッド・サイドレール・介助バーなどのお手入れ**  
水で薄めた中性洗剤に布を浸し、よく絞ってから汚れを拭き、乾いた布でよく拭き取ります。シンナー・ベンジンなどの揮発性の高い薬品は絶対に使用しないでください。
- **マットレスお手入れ**  
使用の状態に応じて2週間から4週間に一度、ベッドから降ろし風通しの良いところで陰干してください。
- **ネジ類のゆるみの点検**  
モーターユニット、背ボトムのノブボルトなど、取り付けネジがゆるんでいないか時々点検してください。ゆるんでいるネジは締めるようにしてください。

#### 『消毒について』

- 全ユニットで使用できる消毒薬  
エタノール：76.9～82.4%  
次亜塩素酸ナトリウム：0.02～0.05%  
塩化ベンザルコニウム：0.05～0.2%
- モーターユニットを除いて使用できる消毒薬  
オゾンガス：3～5 ppm (CT 値 3,000 ppm m·min)

# 5. 機種別組み立てガイド

## ■ ユニットの組合せとJISの適合について

- ファーストワンシリーズでは下表のユニット組合せで使用してください。  
下表の組合せの場合のみ、JIS認証の適合品になります。  
オプションについては、「適合オプションについて」(30～34ページ)をご確認ください。
- 下表以外の組合せの場合は、JIS認証を取得していない状態となります。

## 警告

ベッドは下表のユニットを確認した上で組合せで組み立ててください。誤った組合せで使用すると、けがや故障の原因となります。

※各ユニットの番号は梱包用の段ボールおよび製品識別表示ラベルに記載されています。

- ファーストワンシリーズ  
CFB-1109/1109T

組立順序 ユニット番号	ユニット名称	ユニットコード	組立説明
①	FB樹脂ヘッドフットボード91幅	BFAX2401	P22～23
	FB樹脂ヘッドフットボード91幅トラスト	BFAX2401T	
②	FBサイドユニット	BFAX2402	P22～23
③	FBモーターユニット	BFAX2403	P24～25
④	FBボトムユニット	BFAX2404	P26～28

## 6. 組み立てる前の準備

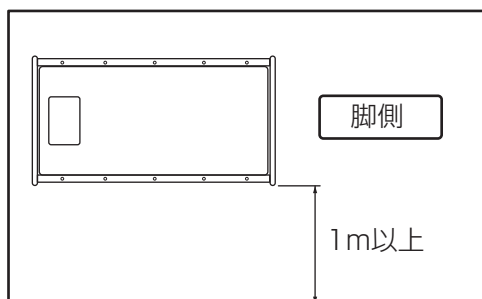
### ⚠ 注意

ベッドを組み立てるときは、誤動作による事故を防止するため、電源プラグをコンセントからはずして作業を行います。ただし、必要に応じてベッドを稼働させる必要があるときは、組み立て手順の指示に従い電源プラグをコンセントに差し込んでください。

ベッドを組み立てるときは、各 부품の駆動部に指などを挟まないように注意してください。



- 組み立ては必ず大人2名で行ってください。
- ベッドは組み立てが完了するとおおよそ55.2kgとなります。ベッドを設置する床の耐荷重に注意してください。
- ベッドは一度組み立てると移動させることが困難です。  
ベッドを利用される方が車いすに乗り降りする場合、ベッドの横に車いすを横付けできるスペースを確保してください。また、介護の方がベッドの周りで介護するためのスペースなども十分に確保してベッドを設置してください。

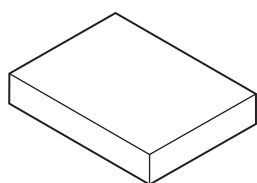


# 7. 組み立て方法

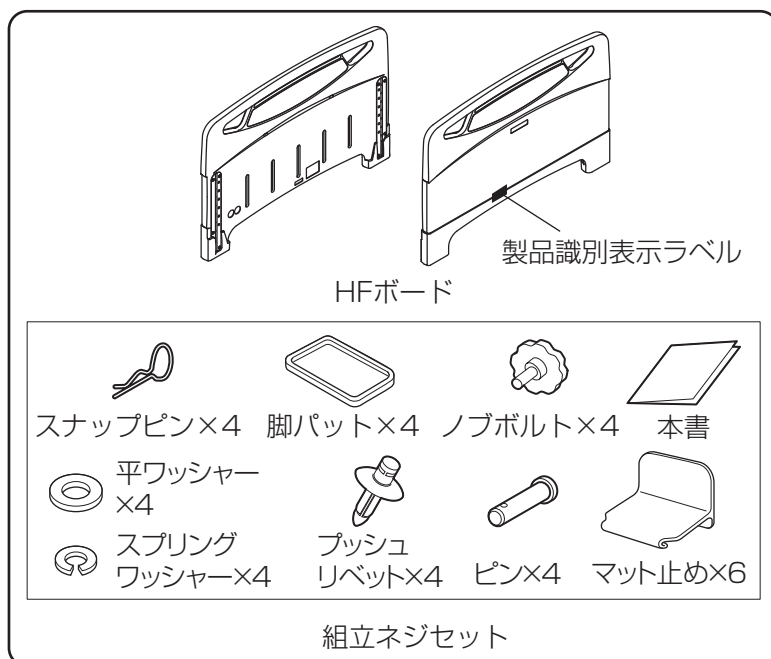
## ■ パッケージごとの内容物と付属品

ベッドを組み立てる前に以下の部品がすべてそろっていることを確認してください。確認する際には部品をパッケージごとに分けておくと組み立ての際に便利です。

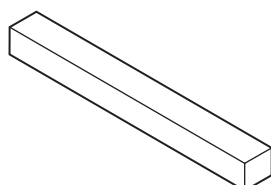
### 1 HFユニット 約14kg (16kg)



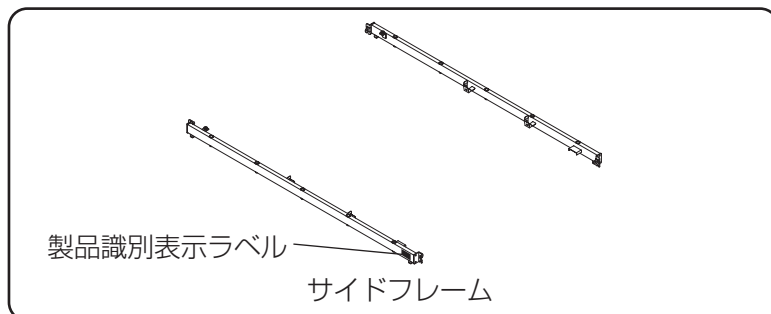
102×69×12 (cm)



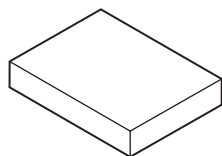
### 2 サイドユニット 約10kg (11kg)



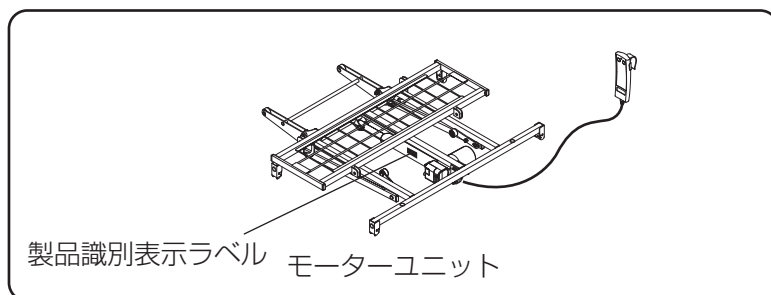
207×16×10 (cm)



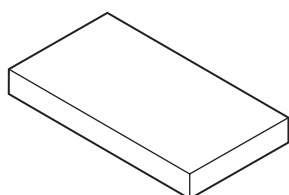
### 3 モーターユニット 約16kg (18kg)



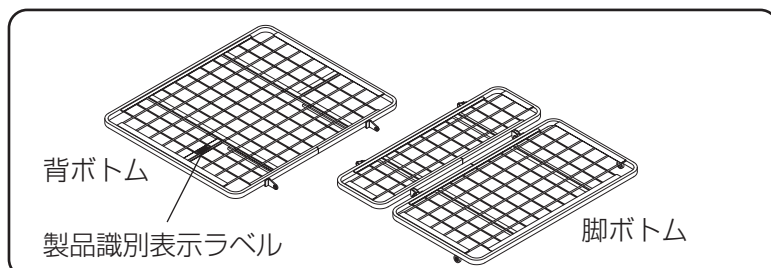
95×88×15 (cm)



### 4 ボトムユニット 約16kg (18.5kg)

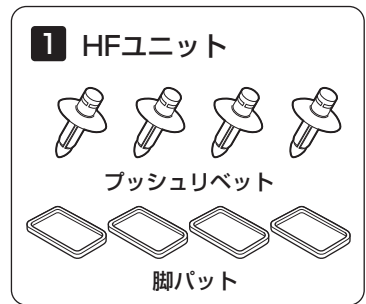
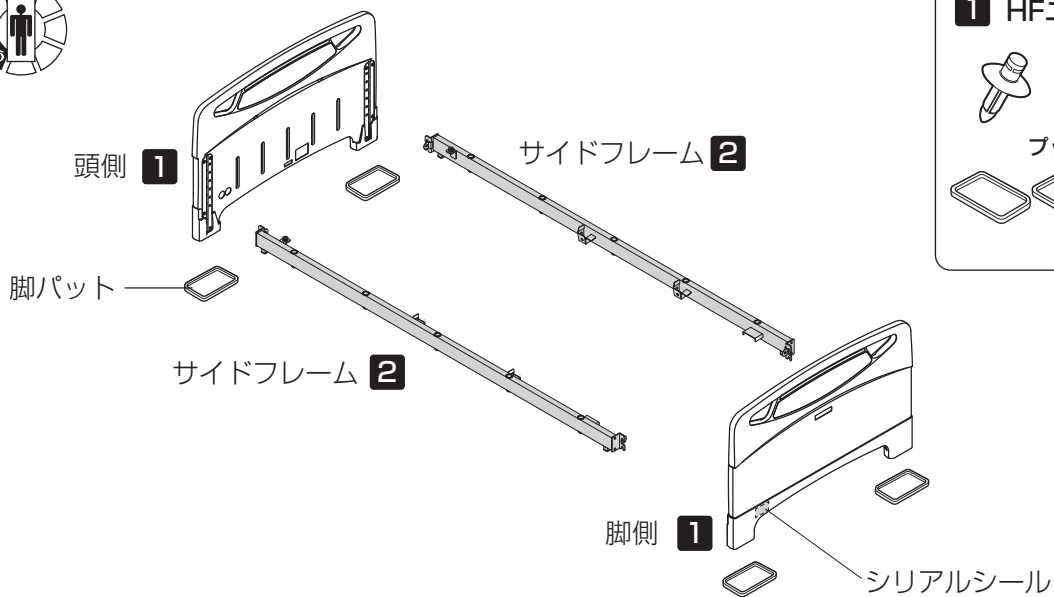


88×94×7 (cm)



( ) 内の重量は梱包状態での重量です。

# 1 HFボードにフレームを取り付けます

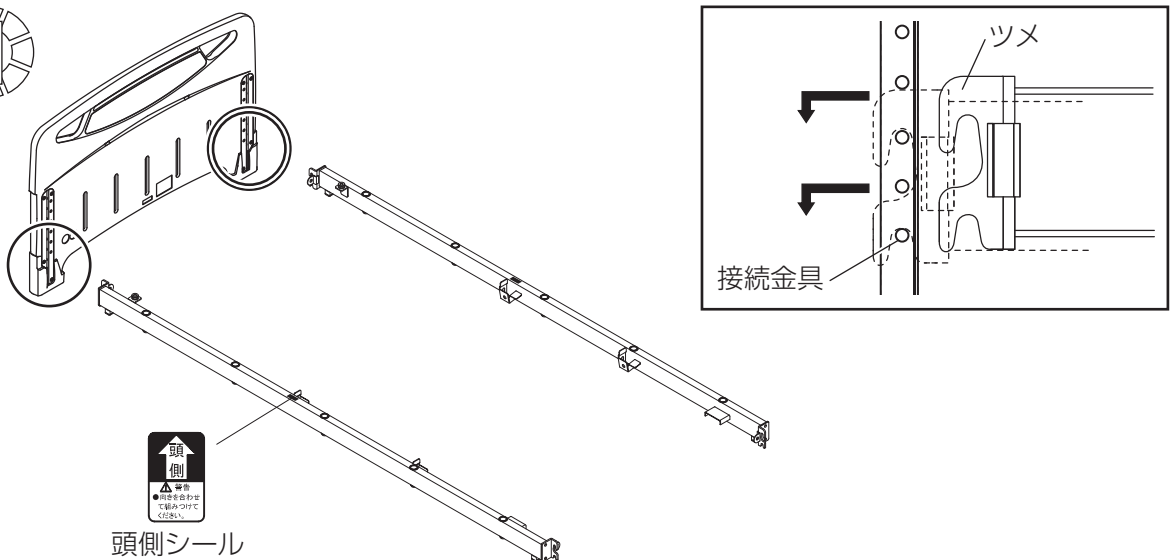


HFボードは頭側と脚側で外観が一部異なります。  
 シリアルシールが貼られているのが脚側HFボード、貼られていないのが頭側HFボードとなります。  
 HFボードの外観をよく確認してから組み立てを行ってください。

① 頭側のHFボードの接続金具部分にサイドフレームのツメ部分を引っ掛けます。  
 サイドフレームの取り付けはHFボードの接続金具に刻印されている床高表記部分とサイドフレームの上端が合うように取り付けを行ってください。

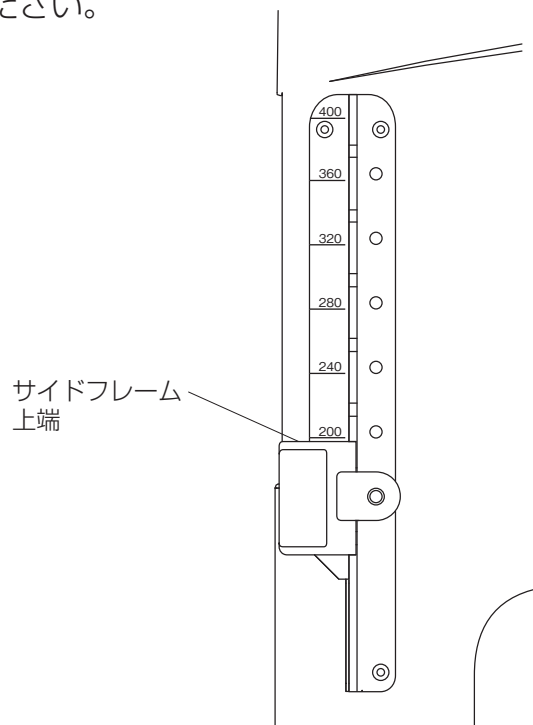


ベッドは組み立てが完了すると、重量があるため簡単に移動できません。あらかじめベッドを使用する位置にHFボードを設置してから組み立てを行ってください。





ベッドは6段階の高さを選択することができます。使用する高さを確認してから組み立ててください。

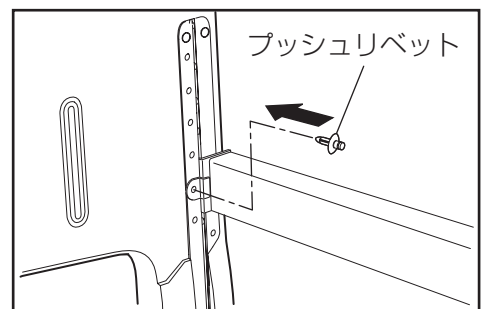
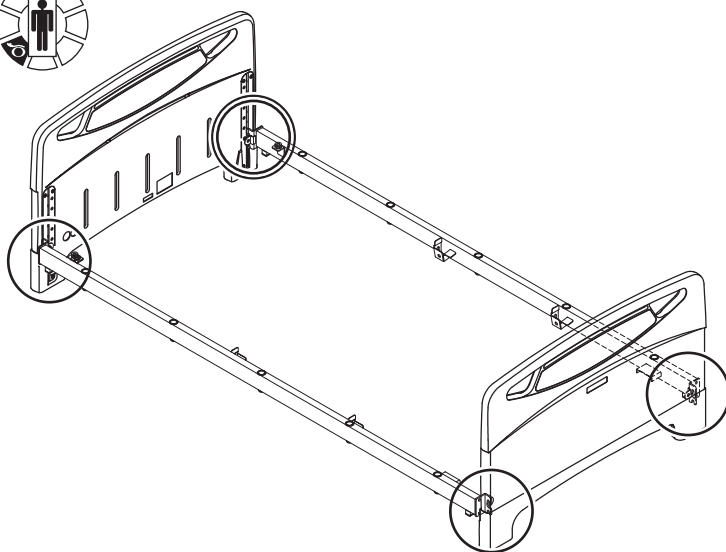


② ①と同様の手順で脚側 HF ボードにサイドフレームを取り付けます。

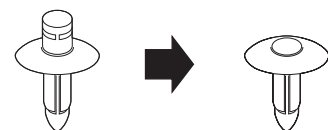


①で取り付けした頭側 HF ボードと同じ高さになるように床高を確認して取り付けを行ってください。

③ プッシュリベットを差し込みサイドフレームを固定します。



プッシュリベットはしっかりと押し込みます。

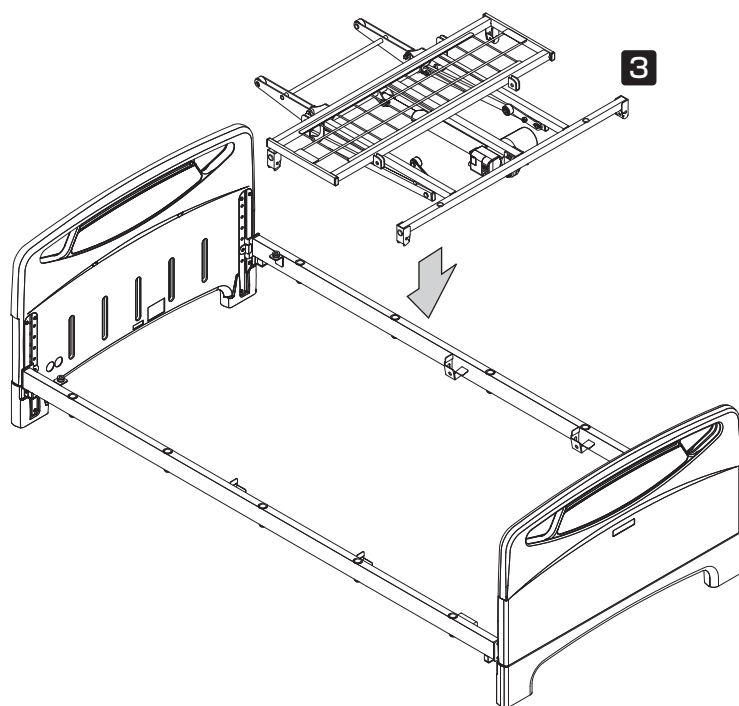


## 警告

ベッドは組み立てが完了するとおおよそ55.2kgとなります。ベッドを設置する床の耐荷重に注意してください。



## 2 モーターユニットを取り付けます



### 1 HFユニット



ノブボルト

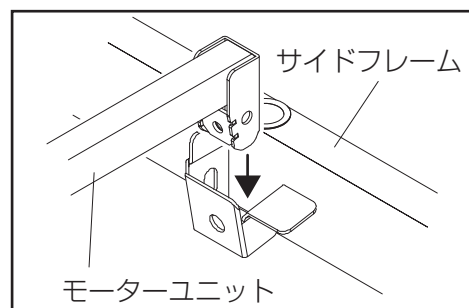
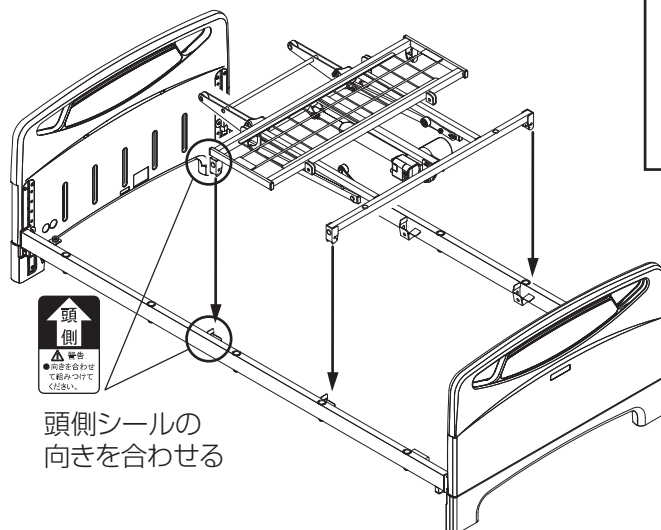


平ワッシャー



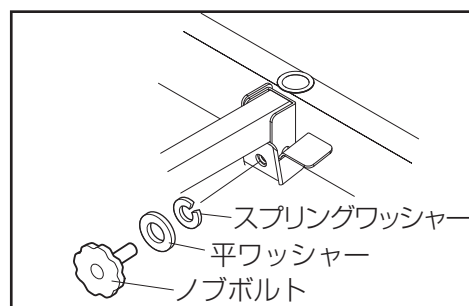
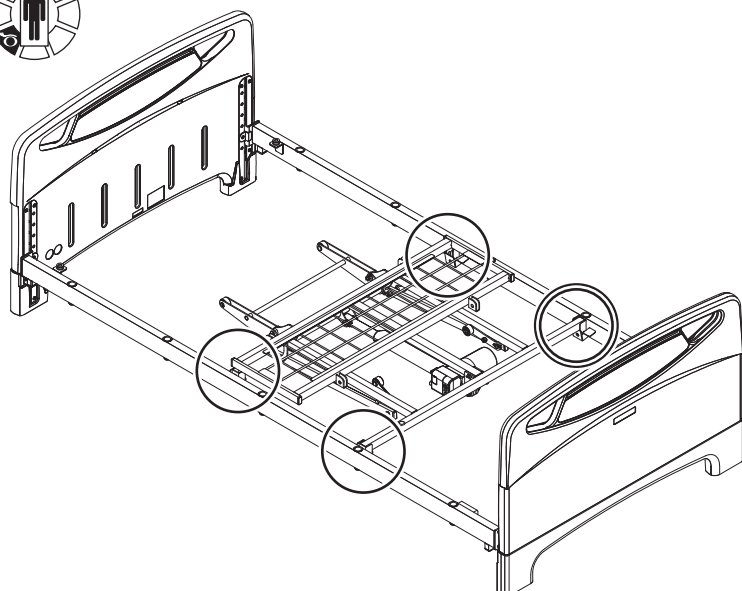
スプリングワッシャー

① サイドフレーム4カ所のブラケットにモーターユニットの取付穴部を差し込みます。



頭側シールの  
向きを合わせる

- ② モーターユニットとサイドフレームの連結部4カ所をノブボルトでそれぞれ固定します。



## ⚠ 警告

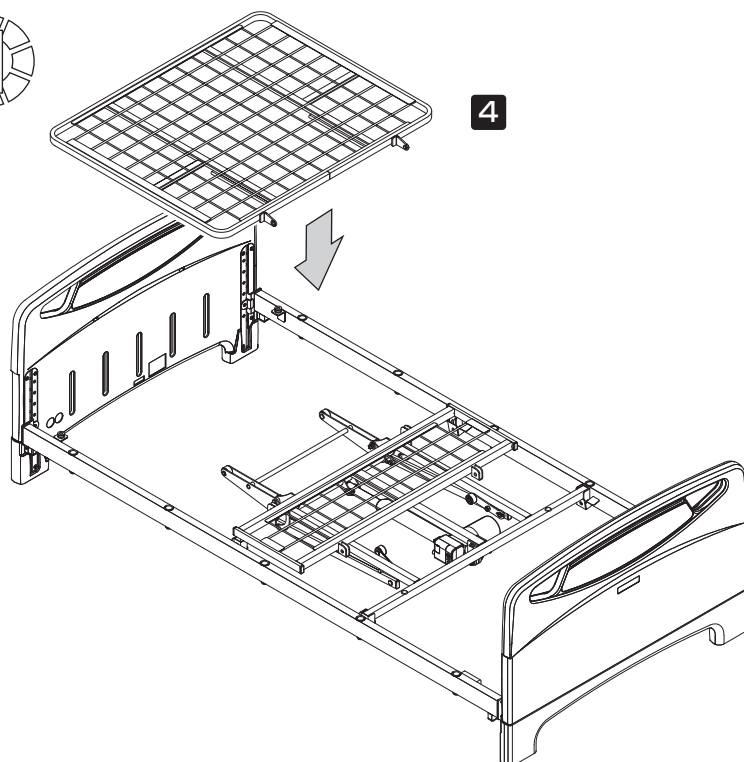
モーターユニットの取り付け後、4カ所のノブボルトがしっかり固定されているか確認してください。  
ノブボルトが緩んでいるとモーターユニットが外れてけがをすることがあります。

- ③ 電源ケーブル、手元スイッチが固定されているヒモを解き、コードを引き出しておきます。

## ⚠ 警告

コードを引き出す際、サイドフレームの上を通さないでください。  
コードの挟み込みによる断線や、思わぬ事故の原因となります。

### 3 背ボトムを取り付けます



#### 1 HFユニット

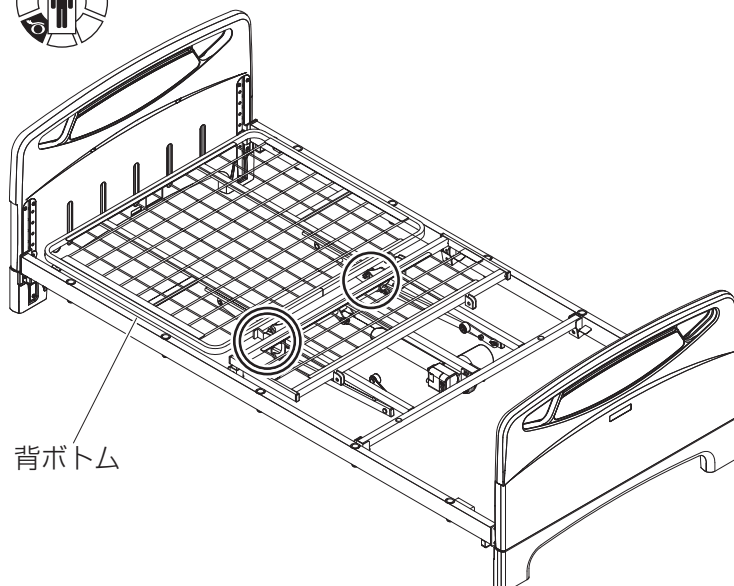


スナップピン

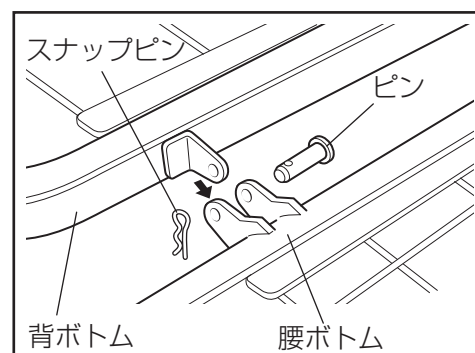


ピン

① 背ボトムの連結部2カ所と腰ボトムの連結部2カ所をピンで連結します。



背ボトム



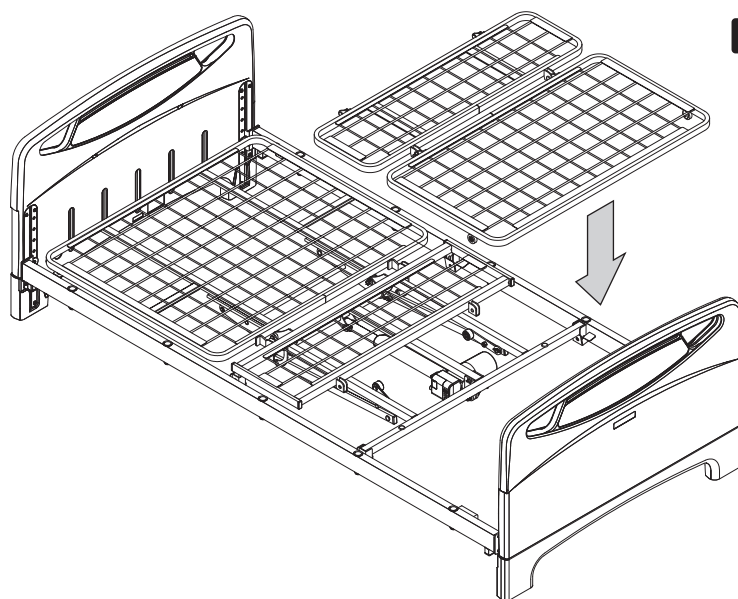
スナップピン

ピン

背ボトム

腰ボトム

## 4 脚ボトムを取り付けます



4

1 HFユニット

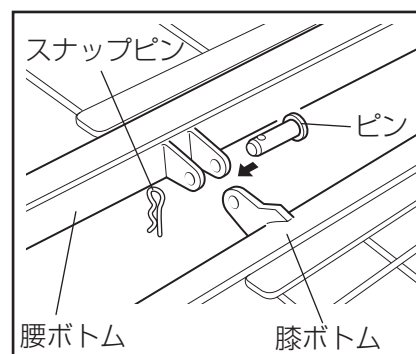
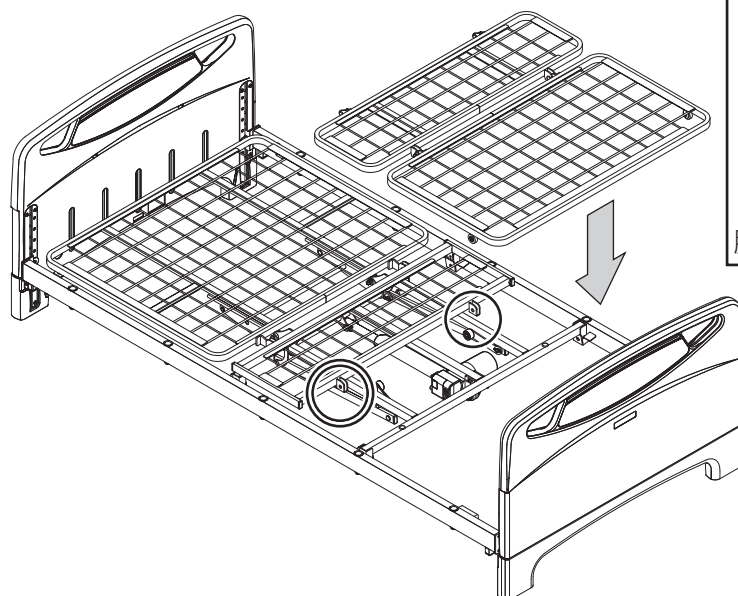


スナップピン

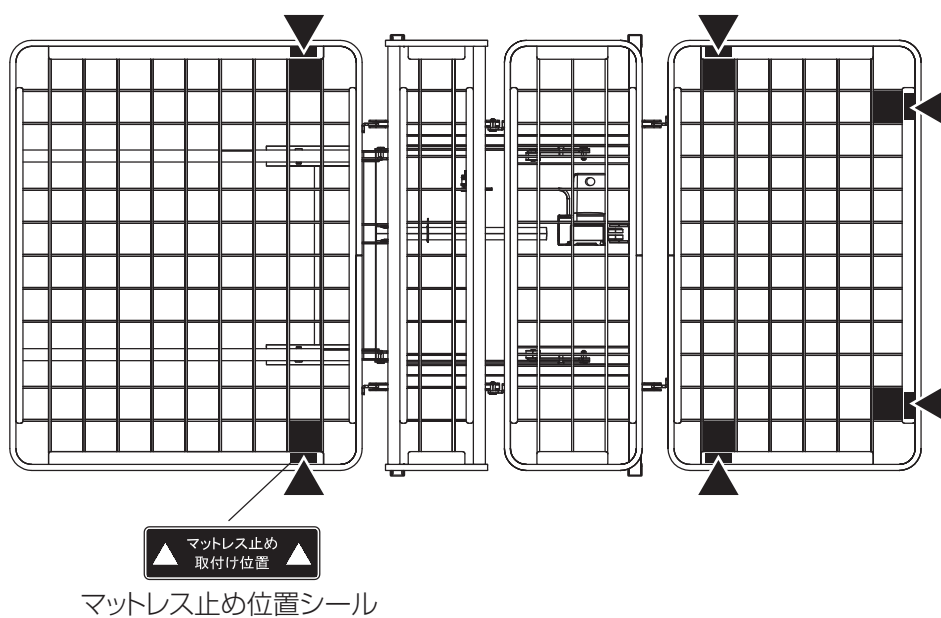
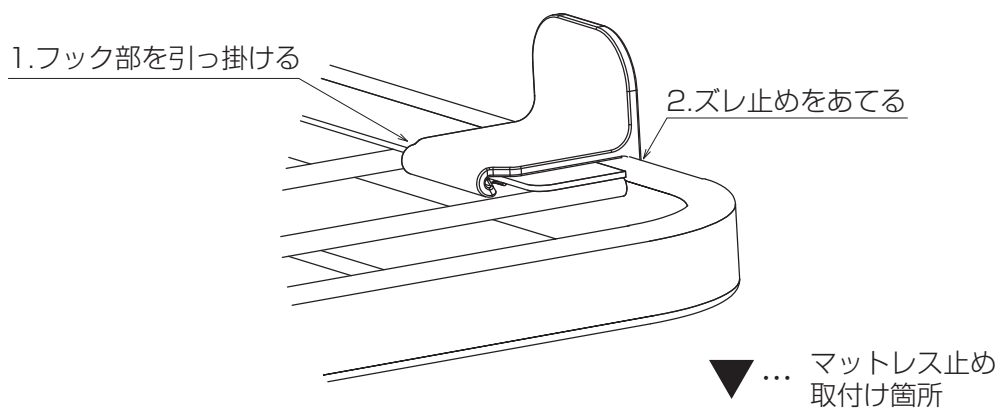


ピン

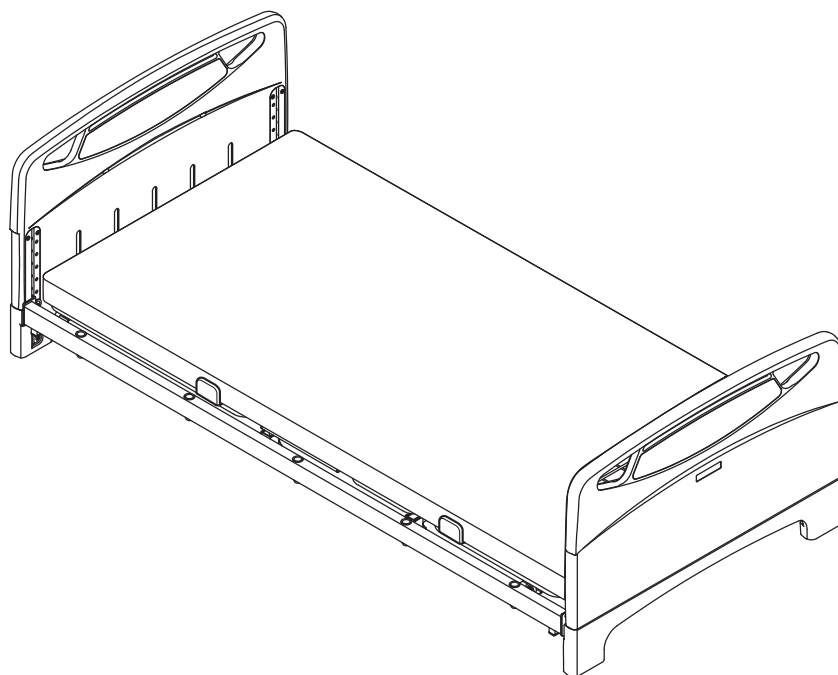
① 膝ボトムの連結部2カ所と、腰ボトムの連結部2カ所をピンで連結します。



② マットレス止めをボトムの6カ所に取り付けます。



## 5 完成



① マットレスをのせて完成です。

## ■適合オプションについて

### 警告

- オプションは正しい組合せを確認した上でご使用ください。誤った組合せで使用すると、思わぬけがや故障の原因となります。  
各オプションの品番は段ボール箱・製品識別表示ラベルに記載されています。
- 各オプションの適合表に記載の適合品以外は使用しないでください。意図せぬすき間の発生や製品の破損・変形などにより、けがをするおそれがあります。
- 必ず各オプションの取扱説明書をお読みください。

### ■適合表

製品名	品番	ページ
さしこみサイドレール	CAS-143W, CAS-178W, CAS-178WC <sup>*1</sup> CAS-198W, CAS-378W, CAS-478W, CAS-1180, CAS-800W, CAS-8078, CAS-8179	(別図)
固定型サイドレール	CAS-578W	(別図)
介助バー	CAC-070, CAC-080, CAC-180, CAC-070WC <sup>*2</sup> , CAC-080WC <sup>*2</sup>	(別図)

※ 1CAS-178WCはさしこみサイドレール CAS-178W / 378W とクッションカバー CAS-178C のセットになります。

※ 2CAC-070WC / CAC-080WC は介助バー CAC-070 / 080 とクッションカバー CAC-070C / 080C のセットになります。

### ■マットレス

ベッドサイズ	マットレスサイズ
91 幅レギュラー	長さ 1910mm × 幅 910mm × 厚さ 70mm 以上 160mm 以下

- 仕様変更などによりこの取扱説明書の記述と一部異なる場合があります。  
ご不明な点は販売店または直接弊社までお問い合わせください。

## ■ サイドレール・介助バーの取り付けについて

サイドレール、介助バーのベッドへの取付けは下記の図表を参照して、正しい組合わせで、また正しい向きで取付けてください。

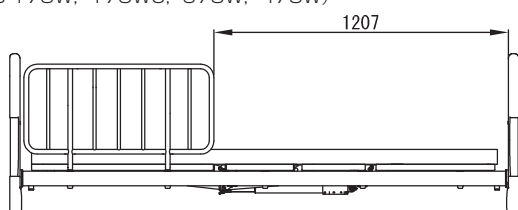
※サイドレール、介助バーはベッドのサイズに合わせてお選びください。

※サイドレールレギュラー AのイラストはCAS-178Wになります。

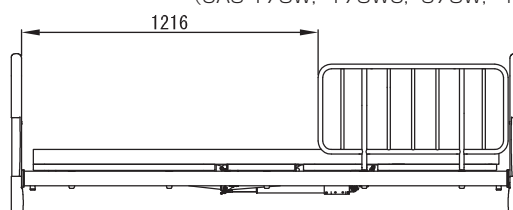
※サイドレールレギュラー BのイラストはCAS-8078になります。

※ベッド用グリップのイラストはCAS-180になります。

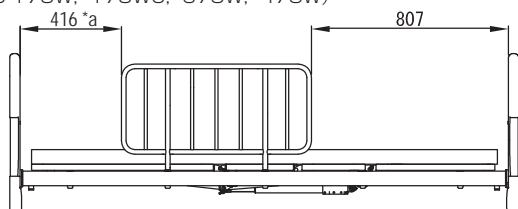
サイドレールレギュラーA  
(CAS-178W, -178WC, -378W, -478W)



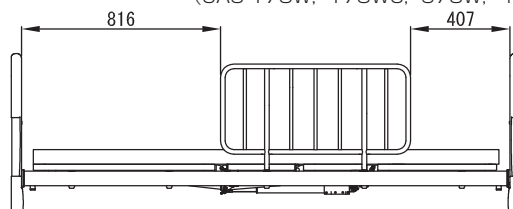
サイドレールレギュラーA  
(CAS-178W, -178WC, -378W, -478W)



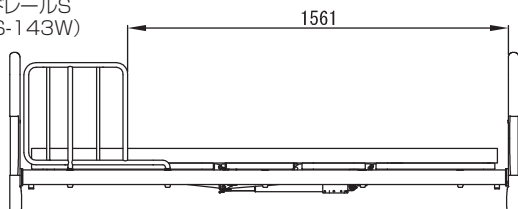
サイドレールレギュラーA  
(CAS-178W, -178WC, -378W, -478W)



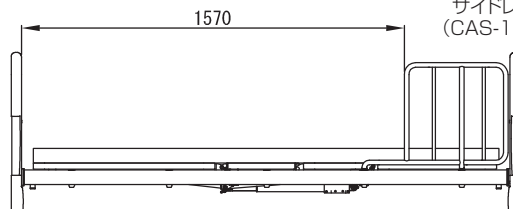
サイドレールレギュラーA  
(CAS-178W, -178WC, -378W, -478W)



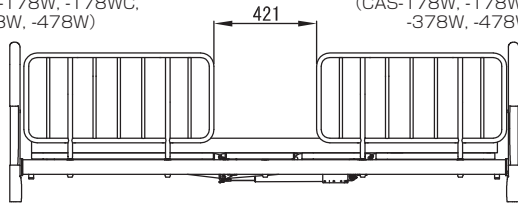
サイドレールS  
(CAS-143W)



サイドレールS  
(CAS-143W)



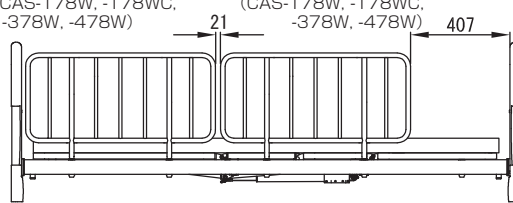
サイドレールレギュラーA  
(CAS-178W, -178WC, -378W, -478W)



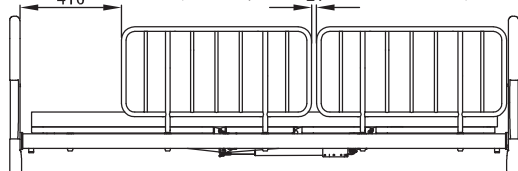
サイドレールレギュラーA  
(CAS-178W, -178WC, -378W, -478W)

サイドレールレギュラーA  
(CAS-178W, -178WC, -378W, -478W)

サイドレールレギュラーA  
(CAS-178W, -178WC, -378W, -478W)

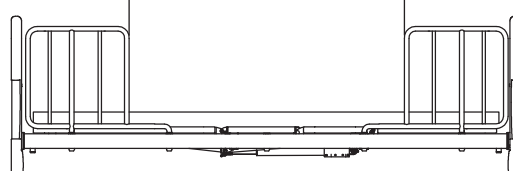


サイドレールレギュラーA  
(CAS-178W, -178WC, -378W, -478W)

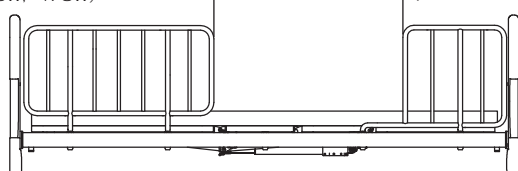


サイドレールレギュラーA  
(CAS-178W, -178WC, -378W, -478W)

サイドレールレギュラーA  
(CAS-178W, -178WC, -378W, -478W)



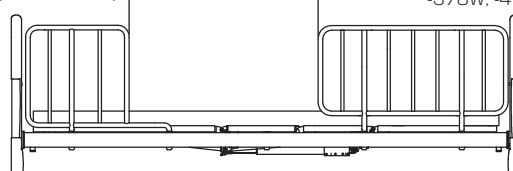
サイドレールレギュラーA  
(CAS-178W, -178WC, -378W, -478W)



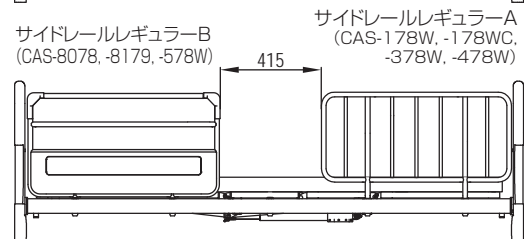
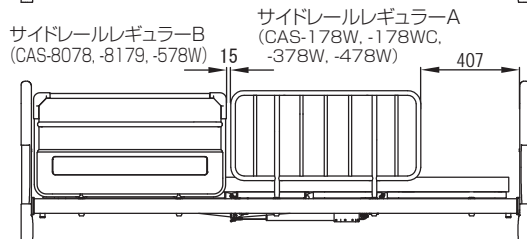
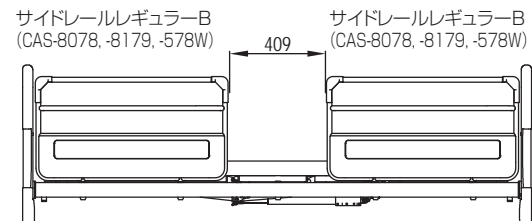
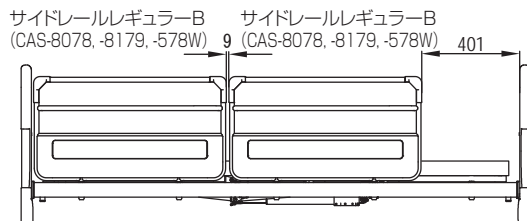
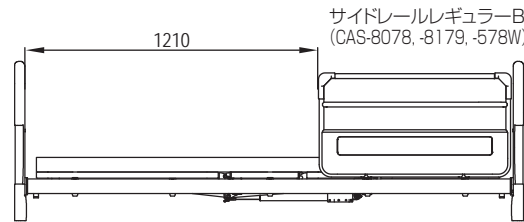
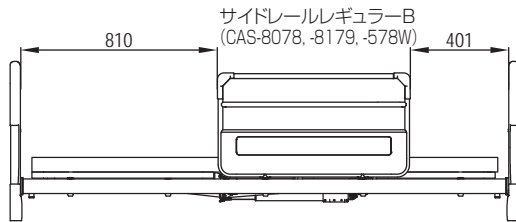
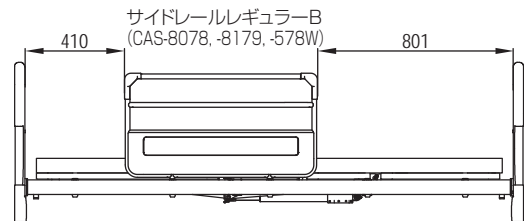
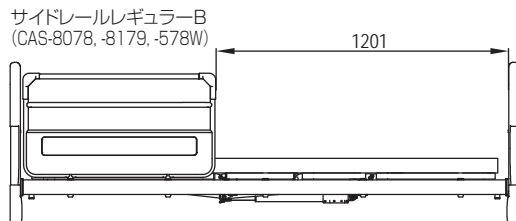
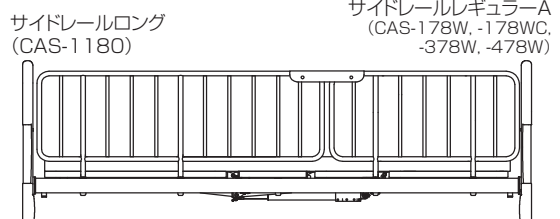
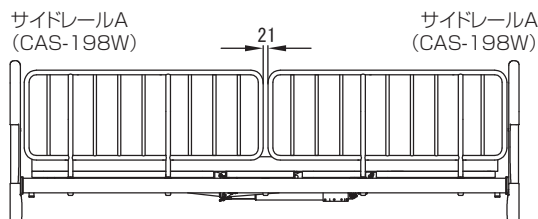
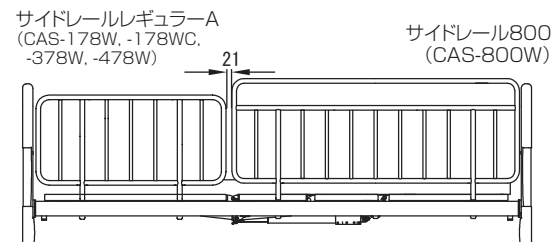
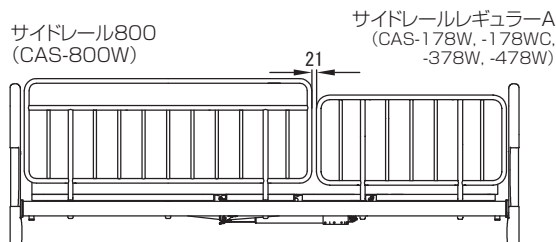
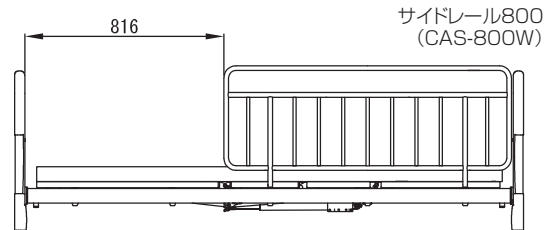
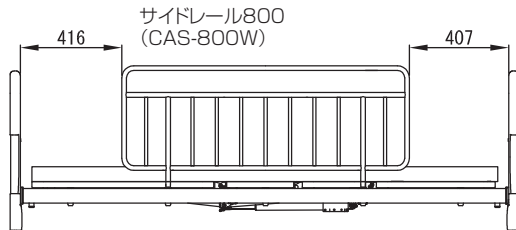
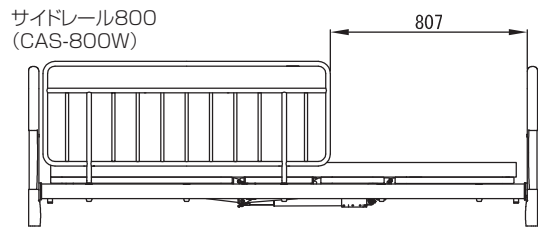
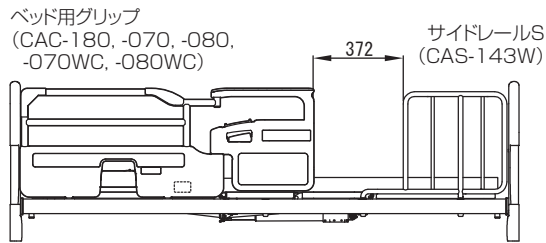
サイドレールS  
(CAS-143W)

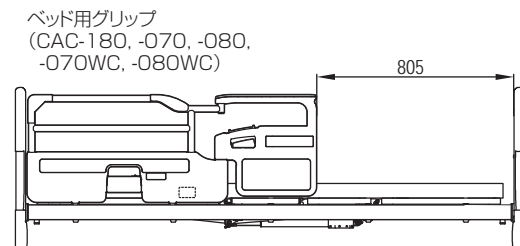
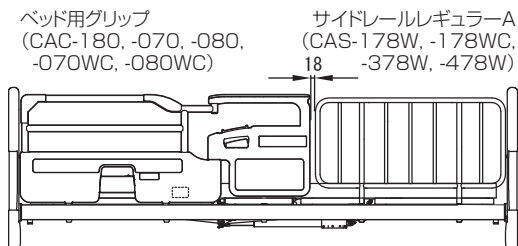
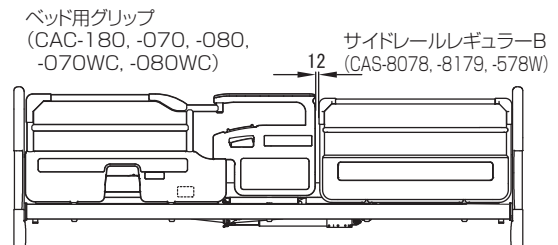
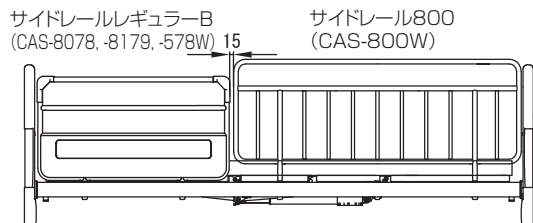
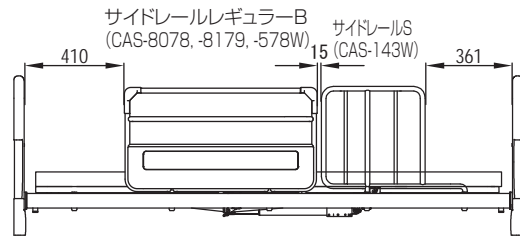
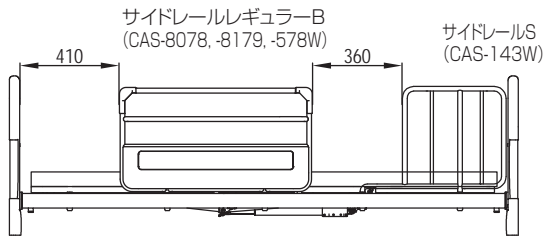
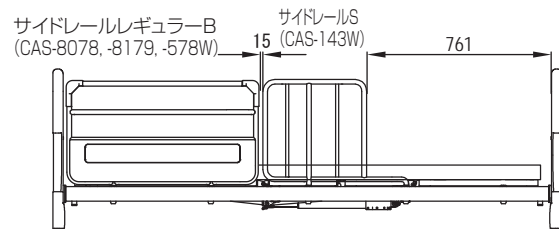
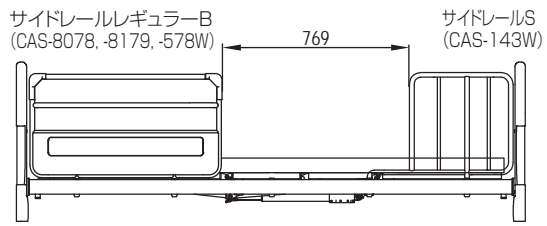
サイドレールS  
(CAS-143W)

サイドレールレギュラーA  
(CAS-178W, -178WC, -378W, -478W)



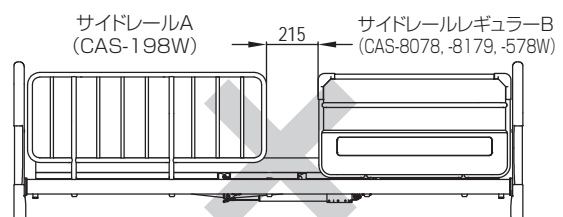
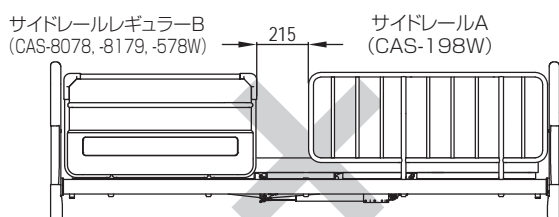
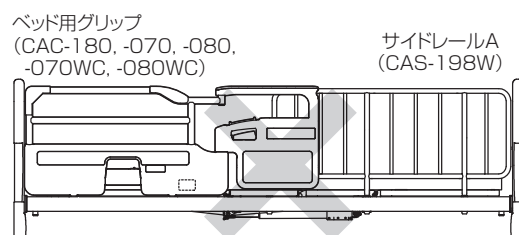
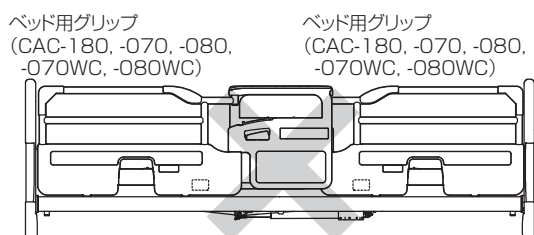
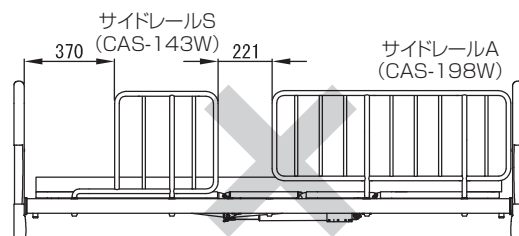
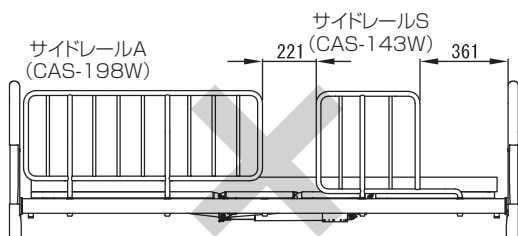
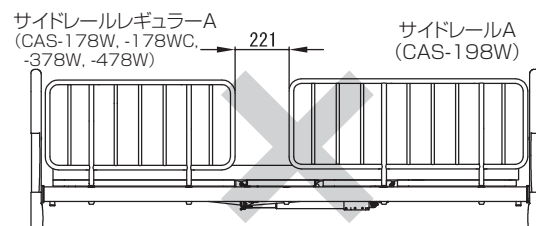
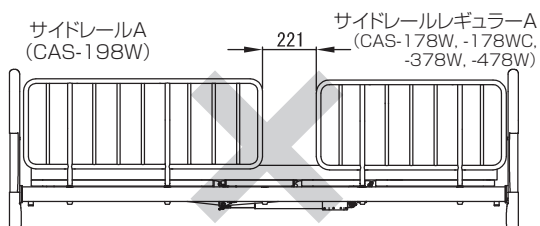
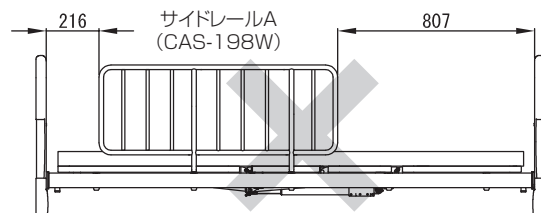
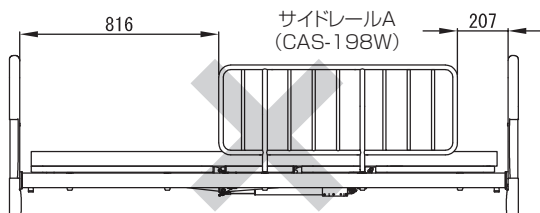






# 警告

- ・ オプション間のすき間やオプションとヘッド・フットボードのすき間に、頭や首が入らないように注意してください。
- ・ 各オプションに添付されている取扱説明書も必ずお読みください。
- ・ サイドレールは、ベッドで寝ている人の転落予防、寝具の落下予防を目的としています。立ち上がり時など、支えとしてお使いになる場合は介助バーをお使いください。
- ・ 誤った組み合わせと取付け位置では、意図せぬすき間の発生によりけがをされるおそれがあります。また、JIS認証を取得していない状態となります。下記図表の組み合わせでは使用しないでください。



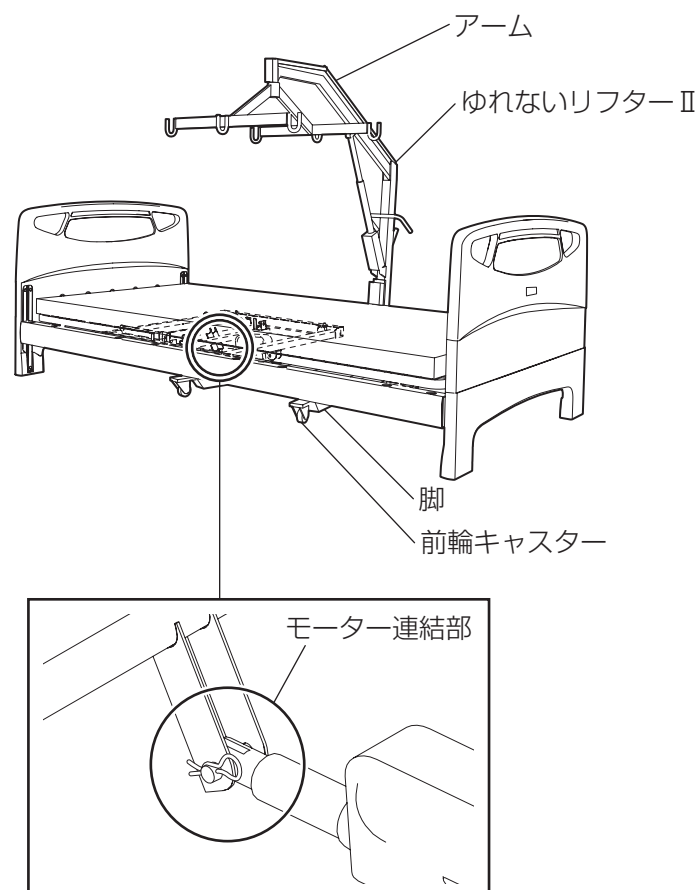
## ■ 介護リフト使用時のご注意

■ 下記の床走行式電動介護リフトが使用できます。

- ゆれないリフターⅡ



ゆれないリフターⅡに添付されている取扱説明書も必ずお読みください。



### ⚠ 警告

- ・ ベッドの背を上げるとき、およびリフターのアームを下げるときは、ベッドとリフターのアームとの間に挟まれてけがをする恐れがあります。十分注意してください。
- ・ ベッドの背を下げるときはモーターユニットのモーター連結部分にリフターの脚や前輪キャスターをはさまないように注意してください。はさまれるとけがや破損の恐れがあります。

## 8. 組み立て後の点検

- ベッドの組み立てが終わりましたら、ベッドに人が乗っていないことを確認のうえ、このチェックシートで点検してください。
- 定期点検の際も、このシートを使用してください。
- 安全性確保や性能維持、予防保守のために、サービス要員による点検を1年に1回実施してください。
  - サービス要員による点検は、電装品とベッド可動部の変形や損傷、締結部のゆるみや脱落などの確認となります。
- 異常が認められた場合や詳しい点検をご希望される場合は、販売店または弊社営業所、サテライトまでお問い合わせください。

### 警告

組み立て後の点検は必ず行ってください。組み立てが不十分な状態で使用すると、けがや故障が発生するおそれがあります。

点検項目	ページ	チェック
1. サイドフレームの取り付け ① サイドフレームのツメ部分がしっかり引っ掛かっていますか？		<input type="checkbox"/>
② プッシュリベットで確実に固定されていますか？		<input type="checkbox"/>
2. モーターユニットの取り付け ① モーターユニットはサイドフレームに確実に取り付けられていますか？		<input type="checkbox"/>
② ノブボルトで確実に固定されていますか？		<input type="checkbox"/>
3. 膝連動切り換え ① 連動バーは2本とも同じ状態ですか？		<input type="checkbox"/>
4. 背ボトム取り付け ① 背ボトムがピンとスナップピンで確実に固定されていますか？		<input type="checkbox"/>
5. 脚ボトムの取り付け ① 脚ボトムがピンとスナップピンで確実に固定されていますか？		<input type="checkbox"/>
6. コード類について ① コードの引っ掛かりや挟まりがありませんか？		<input type="checkbox"/>
② プラグは確実に差し込まれていますか？		<input type="checkbox"/>
③ ベッドの電源プラグをコンセントに差し込んでください。 このとき、手元スイッチのランプは点灯していますか？		<input type="checkbox"/>
7. 操作について ① 手元スイッチのボタンを押して、背がスムーズに動作しますか？		<input type="checkbox"/>
② モーターから異常音がしませんか？		<input type="checkbox"/>

## 9. 分解方法

---

ベッドを分解する前に以下の作業を行ってください。



- ベッドに装着しているオプションパーツなどがありましたら取り外します。
- 寝具、マットレスをベッドから降ろします。
- 背ボトムを最低位置まで下げます。
- 電源プラグをコンセントから抜きます。

### 注 意

---

ベッドを分解するときは、誤動作による事故を防止するため、電源プラグをコンセントからはずして作業を行います。ただし、必要に応じてベッドを稼働させる必要があるときは、分解手順の指示に従い電源プラグをコンセントに差し込んでください。

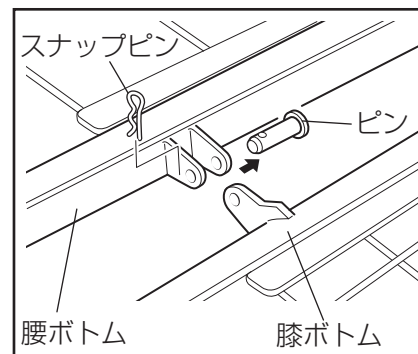
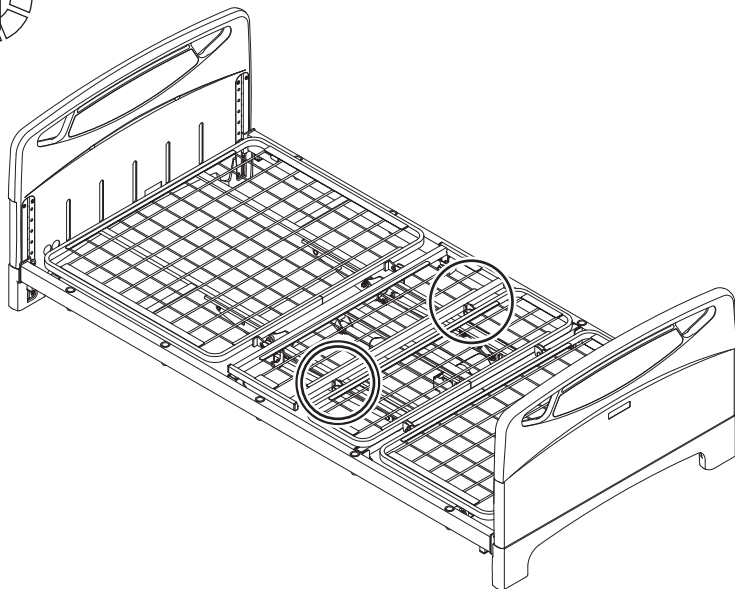
ベッドを分解するときは、各部品の駆動部に指などを挟まないように注意してください。

---

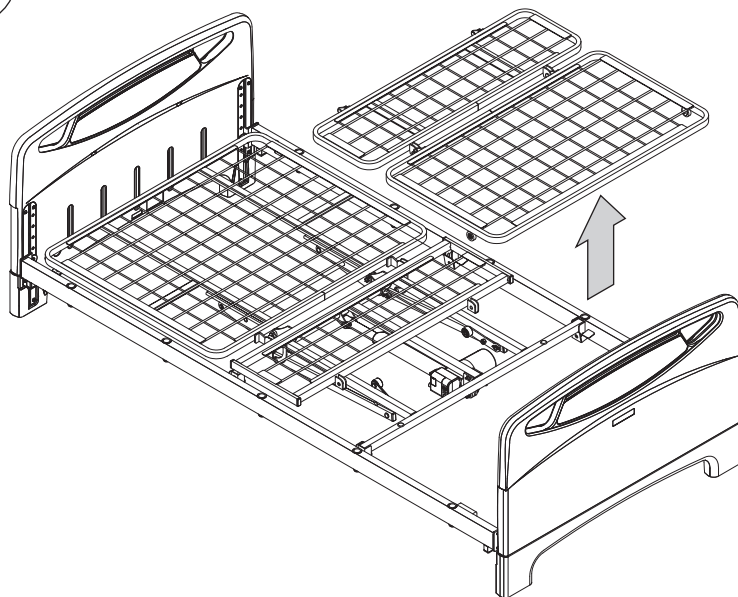
- 分解は大人2名で行ってください。
- 取り外したスナップピン、プッシュリベット、ノブボルトは紛失しないように袋などに入れ保管してください。

## 1 脚ボトムを取り外します

- ① 膝ボトムと腰ボトムを接続している2カ所のピンとスナップピンを外します。

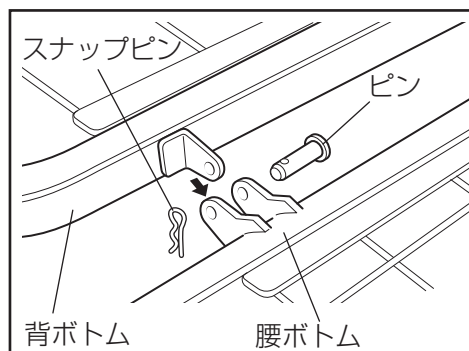
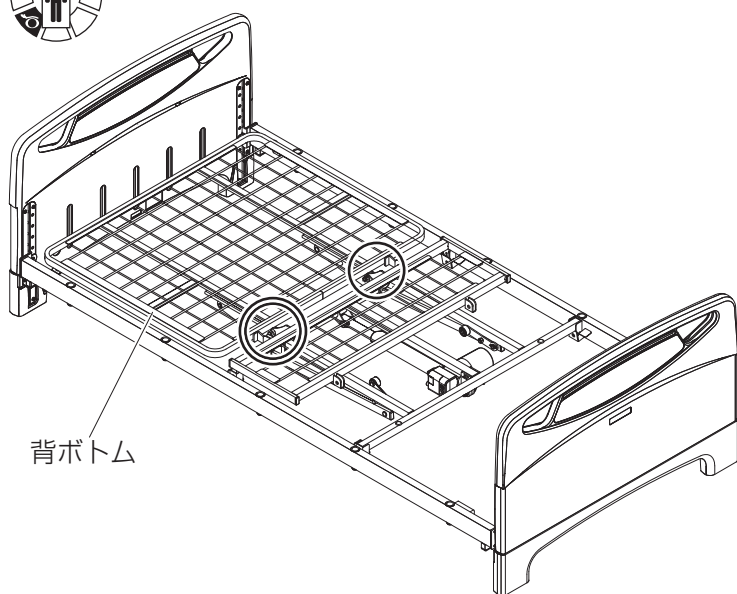


- ② そのままの状態で見脚ボトムを持ち上げ、取り外します。

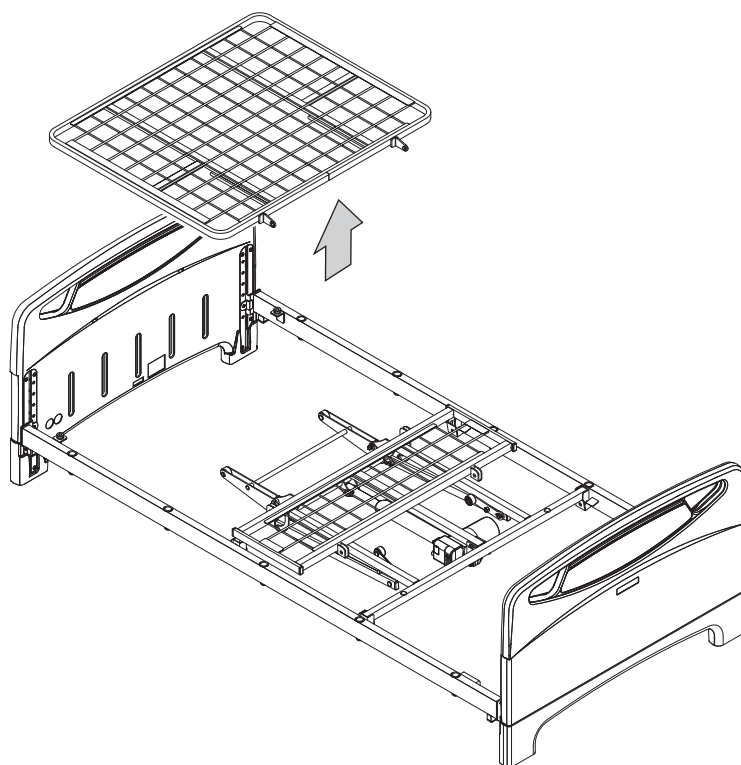


## 2 背ボトムを取り外します

- ① 背ボトムと腰ボトムを連結している2カ所のピンとスナップピンを取り外します。



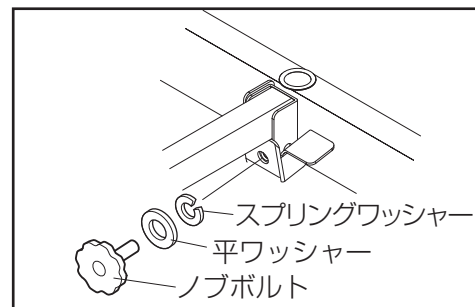
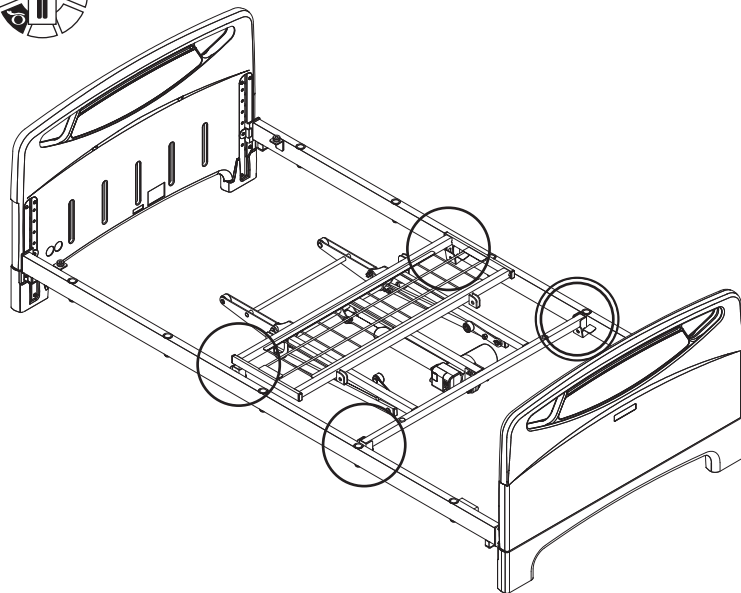
- ② 背ボトムを真上に持ち上げながら取り外します。



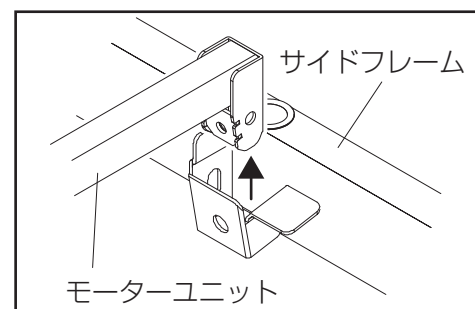
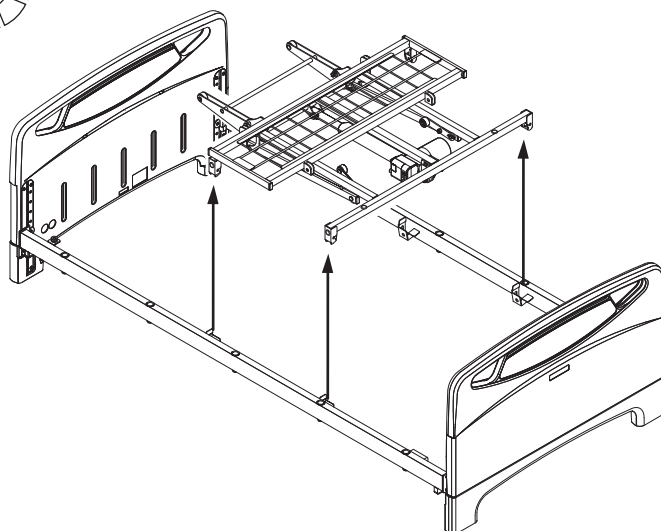


### 3 モーターユニットを取り外します

① サイドフレームとモーターユニットを連結しているノブボルト4カ所を取り外します。

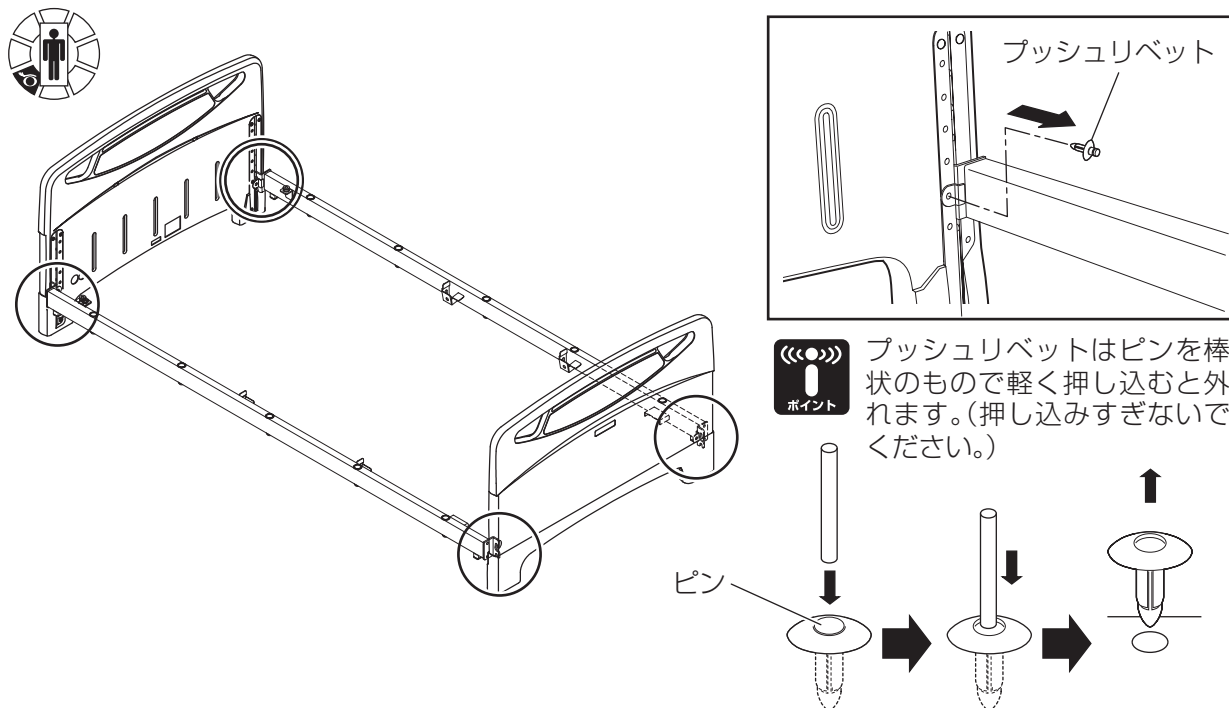


② そのままの状態でもーターユニットを持ち上げ、取り外します。

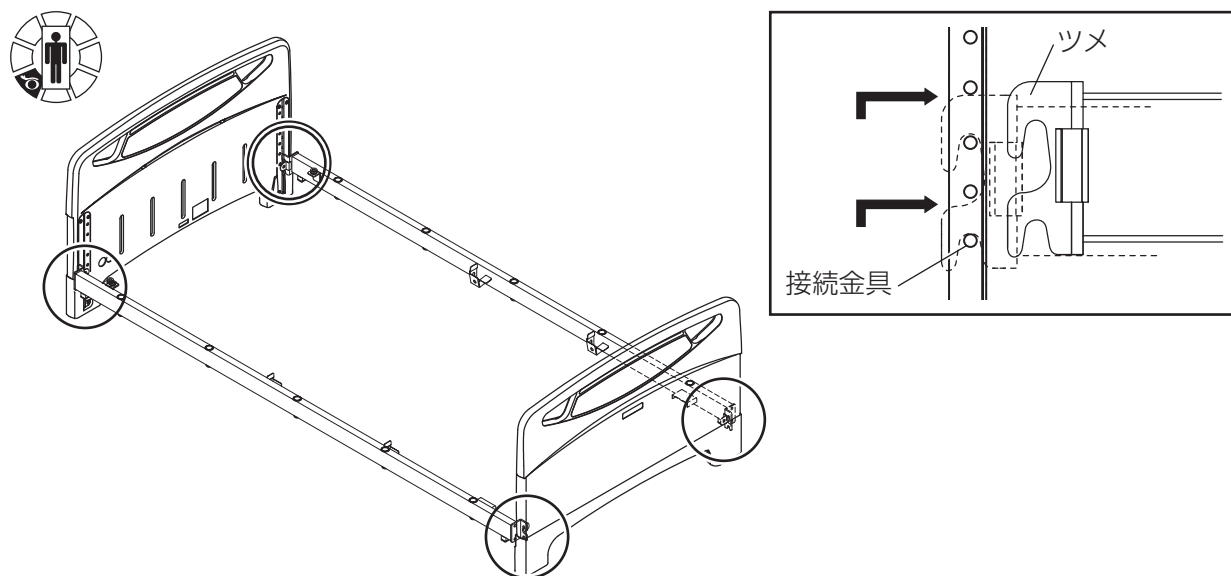


## 4 HFボードからサイドフレームを取り外します

- ① サイドフレームを固定しているプッシュリベットを棒状のもので押し込み外します。



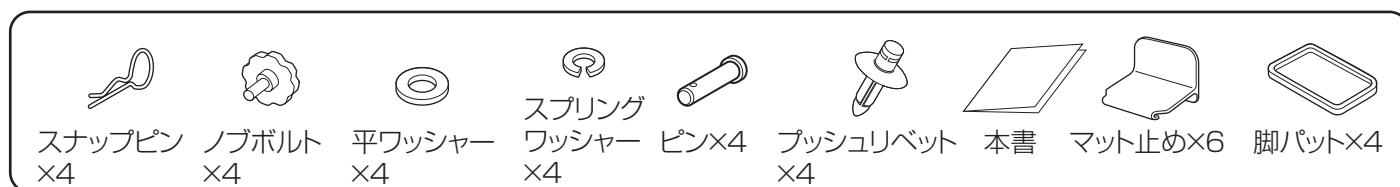
- ② サイドフレームを一旦持ち上げ、ツメとHFボードの接続金具が引っかからないようにして引き抜きます。



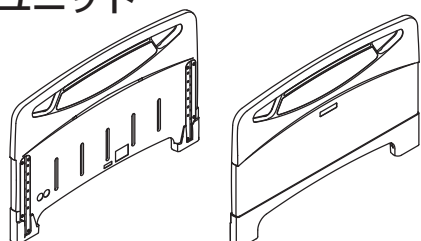
## ■ 付属部品と分解したユニットの保管

### 付属品、組立部品、その他部品の保管

ベッドを分解した後、本取扱説明書、および組立付属品、その他の部品を袋などに入れてHFユニットと一緒に保管してください。



#### 1 HFユニット



HFボード



上記の付属部品と一緒に保管してください。

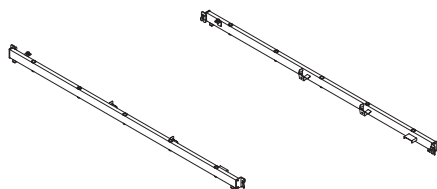


梱包するときは、取扱説明書、付属品などが梱包されていることを見やすいところに明記しておくとし後日開梱するときに便利です。



HFユニットを重ねるときは、金具で傷が付かないように布などをあててください。

#### 2 サイドユニット



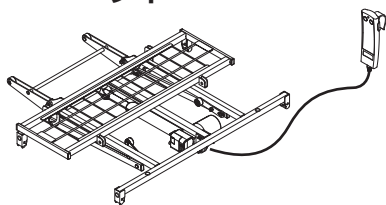
サイドフレーム



サイドフレームは立てて保管するとツメやサイドバンパが変形をおこす恐れがあります。

サイドフレームは必ず横に寝かせた状態で保管してください。

#### 3 モーターユニット

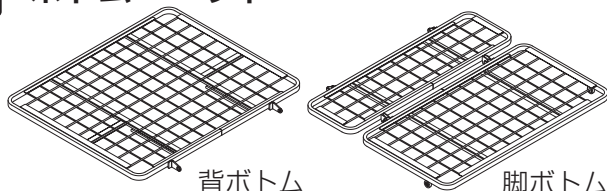


モーターユニット



手元スイッチ、電源コードはひもなどで束ねて保管してください。

#### 4 ボトムユニット



背ボトム

脚ボトム

# 10. 停電・故障時の取り扱いについて

- 停電やベッドの故障時に、背ボトムが上がったままの状態を平らにすることができます。

## ■ 背下げのしかた

### ⚠ 注意

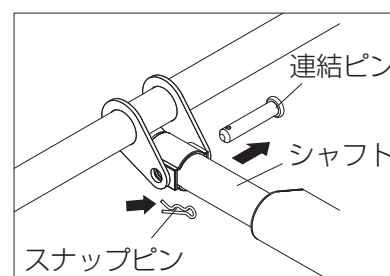
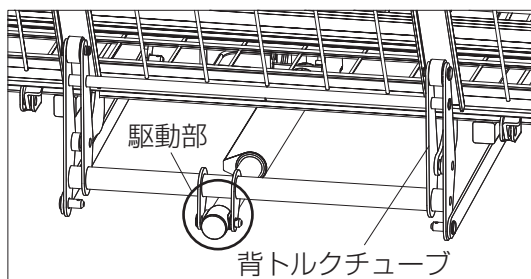
- ・ 駆動部の連結部を外すことにより行います。ベッドをはじめの状態に復旧させるものではありません。手元スイッチでの操作は、停電やベッドの故障が回復するまで使用できません。
- ・ 作業は必ず2人以上で行ってください。

- ① コンセントからベッドの電源プラグを抜きます。
- ② 寝具やマットレスを降ろします。
- ③ 背ボトムと背トルクチューブを押さえてください。
- ④ 背ボトム駆動部の連結を解除します。

### ⚠ 注意

連結部を解除すると、モーターにより駆動していた部分が自由な状態となり平らな状態へ戻ります。手などをはさまないように注意してください。

ボトムを起こすと図のような連結部があります。連結部を固定しているスナップピンを抜き、連結ピンを取り外します。



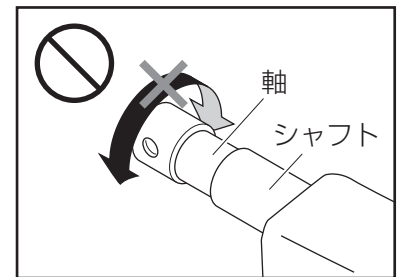
## ⚠ 注意

- ・ 外した連結ピン, およびスナップピンは復帰の際に使用します。紛失しないよう、保管してください
- ・ この作業を行った時は、復帰作業を行って元の状態に戻すまで電源プラグはコンセントから抜いたままにしてください。

- ⑤ 駆動部を平らな状態にします。

## ⚠ 警告

モーターの軸を回転させると、故障や人身事故を招く恐れがあります。モーターを取り外した場合は、絶対に軸を回転させないで下さい。



## ⚠ 注意

停電やベッドの故障が回復したら、駆動部と連結部を元に戻してください。

## ■ 戻しかた

## ⚠ 注意

作業は必ず2人以上で行ってください。

- ① 寝具やマットレスを降ろします。
- ② 背ボトムと背トルクチューブを押さえてください。
- ③ 背ボトム駆動部を連結します。
- ④ ベッドの電源プラグをコンセントに差し込みます。
- ⑤ 手元スイッチを操作して背ボトムを一番下まで下げます。

# 11. 仕様について

型番	CFB-1109 / CFB-1109T	
ベッド全長 (mm)	2087	
ベッド全幅 (mm)	999	
ベッド床高 (mm)	200・240・280・320・360・400	
背上げ	0～75°±4°	
膝角度	0～19°±4°	
ヘッドフットボード高さ (mm)	654	
適合するマットレス幅 (mm)	910	
製品質量 (kg)	56.6	
材 質	ヘッドフットボード	PE (一部ステンレス)
	サイドユニット	スチール製：抗菌粉体塗装仕上げ
	モーターユニット	
	ボトムユニット	
最大利用者体重	135kg	
安全動作荷重※	174kg (1700N)	
最大連続使用時間	約2分 (休止時間 約18分)	
電圧	AC100V, 50 / 60Hz	
電流	1.1A	
モーター消費電力	110W	
騒音値※※	最大：69.4dB (A)	

※安全動作荷重：ベッド動作が行える最大の荷重（使用者体重とマットレスやオプションなどの合計荷重）

※※ 騒音値：騒音値はJISに準拠し、試験室は硬い床で壁又は他の物体とベッドの面との距離を3m以上で測定した値。実際の設置状態で測定すると周囲の騒音や反響を受け、表示値より大きくなる場合があります。

## 注 意

- ・ ベッドは2分以上連続で動作しないでください。破損の原因となります。

## 12. 故障かな？と思ったら

- 修理を依頼する前に以下の項目をチェックしてください。それでも改善されないときは、ベッドの使用をやめて販売店に修理を依頼してください。

### チェック1

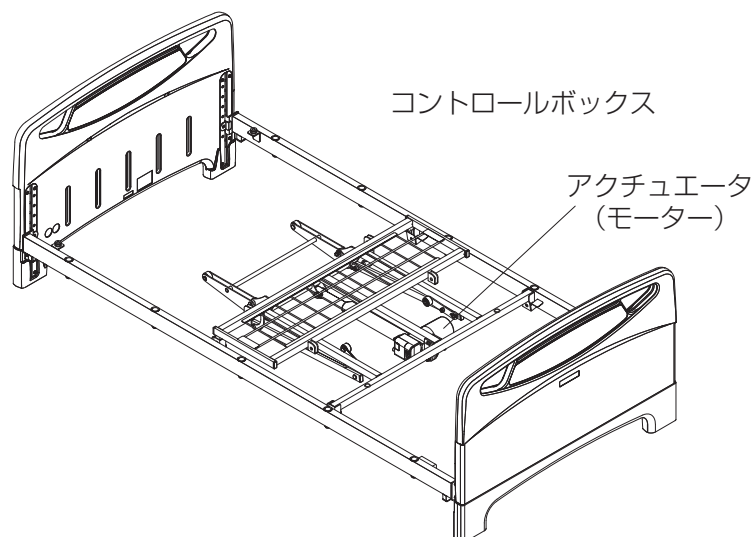
電源プラグはコンセントに差し込まれていますか？

対応：電源プラグをコンセントに差し込んでください。

### チェック2

手元スイッチのコネクタがコントロールボックスから外れていませんか？

対応：手元スイッチのコネクタをコントロールボックスに差し込んでください。



### チェック3

アクチュエータ（モーター）のケーブルがコントロールボックスから外れていませんか？

対応：アクチュエータ（モーター）のケーブルをコントロールボックスに差し込んでください。

### チェック4

手元スイッチのランプが点滅していませんか？

対応：連続使用でアクチュエータやコントロールボックスが熱くなると過熱防止回路がはたらき、アクチュエータが停止します。

ランプが点灯の状態になるまで20分程お待ちください。

# 13. アフターサービスについて

## 保証書

品名／品番 ファーストワンシリーズ／CFB-1109,1109T		保証期間	★ お買い上げ日 年 月 日より1年間
お客様	お名前	★ 販売店	☎ ( )
	〒 ☎ ( ) ご住所		

★印欄の情報が確認できない場合は無効となりますので必ずご確認ください。

この保証書は、本書の記載内容に基づき無償修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から上記保証期間中に、取扱説明書、ラベル類などの注意書きに従った正しい使用状態で故障した場合は、本書をご提示の上、お買い上げ販売店に修理をご依頼ください。

### 【保証規定】

- 保証期間内（お買い上げの日より1年間）に、正常なご使用状態において故障した場合は、無償で修理いたします。
- 次のような場合は、保証期間内でも修理は有償となります。
  - 使用上の誤り、あるいは不当な改造や修理による故障および損傷
  - 弊社が指定する適合品以外の製品と組合せて使用したことによる故障および損傷
  - お買い上げ後の移動、設置、落下あるいは輸送による故障および損傷
  - 火災、煙害、異常電圧および地震、雷、風水害、その他、天災地変などによる故障および損傷
  - 保証書のご提示がない場合
  - 本保証書の保証期間および販売店名の未記入、あるいは字句を書き換えられた場合
- 本保証書は日本国内においてのみ有効です。
  - This warranty is valid only in Japan
- 本保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

## ■ 修理を依頼されるとき

本書の「11. 故障かな？と思ったら」（44ページ）に従って調べてください。それでも直らない場合は、ベッドの電源コードをコンセントから抜いて、お買い上げ販売店、または弊社営業所・サテライトにご連絡ください。

### ◎ 連絡していただきたい内容

- 品名、品番、製品識別表示ラベルの番号
- お買い上げ日
- 故障、または異常の内容
- お名前、ご住所、および電話番号

### ◎ 保証期間内は

保証書の記載内容に基づき無償で修理いたします。

ただし、保証期間内でも修理が有償となる場合があります。詳しくは保証書をご覧ください。

### ◎ 保証期間が過ぎているとき

修理により使用できる製品については、ご要望により有償で修理いたします。

## ■ 製品の最低保有年数は

弊社では、ベッドの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間を製造打ち切り後、5年としております。









万が一不具合等ございましたら、販売店またはお近くの営業所もしくは事業所までお問い合わせください。



**ランダルコーポレーション**

本 社 〒 351-0034 埼玉県朝霞市西原 1-7-1  
TEL.048-475-3661 FAX.048-475-3712

北海道／青森／秋田／岩手／宮城／群馬／埼玉／東京／千葉／神奈川／愛知／大阪／兵庫／岡山／福岡